

泉陽会
会報

編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号
大阪府立泉陽高等学校内
TEL (072) 227-6030
FAX (072) 232-0005
URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 亨(27期)

令和2年度の泉陽会の活動について

今年度はコロナ禍の影響で、政府による「緊急事態宣言」の発令の見込みから、4月5日(日)に開催される定例「総会」を延期することを決定しました。その後、状況を見ながら総会やいづみの発行について検討を重ねておりましたが、下記のように決定させていただきました。

1. 総会について

今年度の総会の開催は中止としました。通常、総会において年間の事業計画等の承認を行っていましたが、今年度は下記の代替手段による議案の承認を行っていただきます。

- 代議員のみみなさまへ「令和2年度議案書」を送付し、意見と決着聴取を行います。
- いづみ(第52号/当誌)に「令和2年度議案書」の内容を記載し、会員のみみなさまからの意見と決着聴取を行います。
- 聴取結果(回答をいただいた方)の半数の賛成をもって、総会による承認の代替とします。

お手数ですが、当誌の7ページから11ページに記載しております第1号議案から第7号議案をご一読いただき、下記の手段によって意見並びに賛否をお寄せいただければ幸いです。

(1) FAX(072-232-0005)

FAXでご投票いただく場合は、次の内容をご記入ください。

- ・ 氏名
- ・ 卒年次、期
- ・ 生年月日
- ・ 各議案ごとの賛成/反対
- ・ 意見(ご意見がある場合)

(2) Web投票

総会議案投票用Webアンケートは、下記のURL、またはQRコードよりアクセスをお願いします。

<https://forms.gle/p1xtwweJsTEMTy6B7>



Web投票用QRコード

回答期限は10月30日です。よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

2. いづみの封緘、発送作業について

会報「いづみ」の発行につきましてもは例年6月に発行し、みなさまに封緘作業を支援いただき、執行委員会で郵便局にて発送を行っておりますが、本年度については発行時期を延期し、封緘作業は中止としました。本年度につきましては、封緘並びに発送作業を、名簿管理の委託先に依頼することといたしました。なお、今後におきましても、発送作業につきましては郵便局の価格上昇の関係から、外部委託とする予定です。

3. 120周年記念行事の懇親会について

本年12月12日(土)に120周年記念行事の懇親会を予定しておりましたが、中止としました。

引き続き集団感染の起こりやすい3密を回避することが重要となりますので、安全面を考慮の上、泉陽会の活動を進めていく所存です。検討結果などの報告につきましては、都度みなさまへホームページ、Facebookの大阪府立泉陽高等学校グループにてお知らせします。会員のみみなさまへの伝達など、引き続き同窓会活動へのご協力のほど、お願い申し上げます。

来年度(令和3年度)の総会は、2021年4月4日(日)の予定です。懇親会は今のところ中止の見込みです。変更などありましたら、ホームページで案内させていただきます。

いづみ第52号 Contents

泉陽会会長挨拶	2
泉陽高校校長挨拶	2
令和2年卒 72期代議員クラス幹事のご紹介	2
フェニーチェ堺(旧堺市民会館)エグゼクティブ・プロデューサー 佐野光徳さん(S46年卒23期)インタビュー	3
むすびの会より	5
「コール、いづみ」混声合唱団 団員募集	5
旭堂南陵さん(西野康雄さん S43年卒20期)を偲んで	6
令和2年度 泉陽会議案書	7
令和元年度 広報誌いづみ(第51号) 読後アンケート	12
令和元年度 教職員異動	12
令和元年度(72期) 母校の進路状況	13
東京支部 活動報告	14
同窓会報告	15
成人式記念同窓会(70期)	16
卒業生クラブだより	17
卒業生は今	19
年会費納入のお願い	20
広報委員会より	20

読後アンケートにご協力ください

いづみの誌面のさらなる魅力づくりのために、読後アンケートにご協力ください。スマートフォンなどから、下のQRコードでアクセスいただければ、アンケート回答のホームページが開きますので、項目に従ってご回答いただければ幸いです。

昨年の実質的な回答は5件でした。いづみを読んでいた方だけでなく、読まない方からもたくさんのご意見をちょうだいしたいと思います。ご多忙かと思いますが、会員のみみなさまとともにさらに充実した誌面とするため、ご協力をいただければ幸いです。

直接アクセスする際は、下記のURLとなります。
<https://forms.gle/mnJkNmXQTD5PNyR57>

いづみ読後アンケート
アクセス用QRコード

会長挨拶

一日も早く、大切な私達の日常を取り戻しましょう

泉陽会会長 昭和44年卒21期 伊藤 裕康

初秋の候、皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。昨秋以降色々なことが起こりました。台風10号、19号による集中豪雨に伴う被害が列島の各地に及ぼし、半面「ラグビーワールドカップ」では日本チーム8強の快進撃が日本中に勇気を与えてくれました。また、本年3月「新型コロナ感染拡大」により、「東京五輪・パラリンピック」延期が発表され、様々な大会やイベント・コンサートも中止になっています。5月25日には全面的に「緊急事態」が終了した旨、宣言されましたが、「新型コロナウイルス」の終息にはまだまだ遠く、予断が許さない状況です。

そして今まで予測しなかった集中豪雨によって7月には日本全国で多くの方が被害を受けられました皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに被災地の日も早い復興を、祈念いたします。昨年度の主な同窓会活動を纏めて報告致します。

●「クラブ交流会」の開催

平成29年度からあらたな取組みとして「クラブ交流会」を発足。令和元年6月2日(日)開催
来賓・文化部・運動部OB合わせて74名の参加。
校長先生からは学校に於けるクラブ活動の現状報告を頂きました。その後、各クラブの活動が、みなさんの青春時代を呼び戻すかのように生き生きと報告されました。
清水 健さん(平成7年卒・47期生・陸上部)読売テレビ退職後、「清水 健基金」を通じて支援・講演活動を続けておられます。ビデオレターで泉陽生にエールを送って下さいました。

校長ご挨拶

泉陽高等学校 校長 武田 温代

泉陽会の皆さま、泉陽高校の校長として3年目を迎えました武田温代です。昨年度末に定年を迎え、今年度は再任用校長として引き続き泉陽高校の校長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

本来であれば、恒例の4月の第1日曜日に開催される、泉陽会総会・懇親会でご挨拶させて頂く予定でしたが、コロナ禍の中、延期になったことはとても残念です。また、昨年5月25日には、東京支部の総会に出席させて頂きました。ちょうど、鈴木良之支部長から天野純一新支部長へバトンが渡された会でした。私の母親よりも年上の方々の健康なお身体と食欲に圧倒されながら、楽しい時間があっという間に過ぎていったことを思い出します。

さて、2020年は泉陽高校創立120周年の年に当たります。記念誌・記念品に関しては、ほぼ予定通り進行しています。記念式典と祝賀会は12月12日(土)に「フェニーチェ堺」と「アゴラ・リーゼンシー」で開催を予定していました。コロナ禍での「新しい生活様式」に則って、開催できるかどうかを同窓会役員の皆さまと相談しながら進めてまいりましたが、残念ながら中止とさせて頂くことになりました。記念事業につきましては、今年度の泉陽会総会の中止が決定し、次年度の総会をもって最終決定の運びとなりました。同窓会の皆さまには多くの心遣いをいただき、感謝申し上げます。コロナ禍といえ、泉陽高校も3月から約3か月間、臨時休業にな

今年は事情が急変して「クラブ交流会」の開催は不可能です。来年度はみなさんのご要望にお応えして是非開催したいと計画しております。

●名簿管理→業務委託

私は平成29年に会長に就任。その時、名簿委員会より平成25年ごろから問題提議され名簿管理については、個人情報保護の観点からも最終的には「外部委託」が必要であると指摘を受けました。それを機に平成30年には、執行委員会で他校からの情報収集し、システム改善等を検討しました。そして昨年10月の代議員会で最終案を検討いただき、賛同を得られ、本年1月18日(土)(株)サルトとの業務委託契約が締結されました。

この3年間で一期の任期を終え、新しい委員会が発足され、あらためて各部門の担当者、代議員、泉陽会のみなさん、東京支部を支えて下さっている天野純一(昭和53年卒・30期)さんへの感謝の意を表します。今後も皆様方の意見を取り入れより一層の向上を目指していきます。コロナウイルスの今後の状況を考慮にいれ、可能な活動から再開しようとかんがえております。みなさんの、ご理解とご支援をお願いします。併せてみなさんのご健勝をお祈り致します。尚、新型コロナウイルスの影響で「第5号議案・令和2年度事業計画(案)」は変更、中止になる場合があります。ご了承ください。



りました。その間にはオンライン授業への取り組みを余儀なくされましたが、教職員のスキルと現状のICT環境の中で泉陽スタイルのオンライン授業を実施して、生徒の学習を保障しました。手洗いの励行やマスクの着用と言った「新しい生活様式」の中、教育の現場も大きく変わっていきます。また、Society5.0に向けた環境整備計画の一つであるGIGAスクール構想の準備として、本校でも今年度中にすべての教室に無線LANが設置されます。生徒にも一人1台のタブレット端末が配布され、デジタル教科書やオンラインでの課題の提出、ペーパーレス化など学びへのアプローチも変化していきます。

そのような中であっても、「『世のため人のため、世界のため』という社会貢献意識を強く持ち、気品に溢れる、情操豊かな生徒を育て、その進路実現を叶える」という学校目標を継続してまいります。皆さま方におかれましては、生徒が卒業後も将来にわたって幸せを実感できる泉陽高校であり続けるため、今後とも様々なご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和2年卒 72期代議員クラス幹事のご紹介

今年も泉陽会にフレッシュな仲間が増えました。若い力で、ますます泉陽会の発展にご協力をお願いします。太字は代議員です。

- 1組 古川花菜 丸若弘介
- 2組 大迫翔輝 **山下恭平** 山田真之
- 3組 中野夢奈 二羽涼太
- 4組 遠藤圭太 中愛子
- 5組 石崎利華子 **西尾琉花** 山本ちひろ
- 6組 岡田日菜子 古田慧
- 7組 今久保もも乃 上村莉央奈
- 8組 実原爽太 福井健人
- 9組 大湾康平 鈴木啓太 中辻航晴 曲谷一成



フェニーチェ堺オープン/エグゼクティブ・プロデューサー佐野光徳さんインタビュー

以前の堺市民会館は、『フェニーチェ堺』として『芸術文化の創造・交流・発信の拠点施設〜堺市民芸術文化ホール』として生まれ変わり、2019年秋にグランド・オープンしました。この『フェニーチェ堺』の設立、企画などのエグゼクティブ・プロデューサーと活躍されている佐野光徳さん(昭和46年卒23期)にお忙しい中インタビューに対応いただきました。インタビューでは、出会いの大事さ、日本でのクラシックの普及にあたっての裏方としてのご苦労、また、堺の歴史もあらためて勉強することの必要さなど、長時間にわたるインタビューにお応えいただきました。

計8時間におよぶインタビューより記事をまとめましたが、佐野さんより時系列などの間違いがある旨のご指摘を頂戴しております。完全な形で掲載をめざしていたのですが、新型コロナ禍の影響でフェニーチェ堺の業務などで佐野さんが超多忙な状況となっており、年内の発行が難しい状況となったため、10月末段階での原稿を掲載させていただくことといたしました。間違いを修正した完成原稿につきましては、改めて泉陽会のホームページに掲載させていただきます。途中で掲載となったこと、心よりお詫び申し上げます。

【佐野光徳さんプロフィール】

株式会社梶本音楽事務所等を経て、30歳でクラシック音楽のマネジメント会社を設立。1985年、レナード・バーンスタインを音楽監督とする“広島平和コンサート〜世界巡礼のたび(広島、アテネ、プタペストで開催)”を企画し世界的な反響を呼ぶ。この公演はヴァイオリニスト五嶋みどりの日本デビュー公演となる。1990年、レナード・バーンスタインオフィスの代表より、アジアでの教育音楽関係の可能性について相談を受け、“パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)”をプロデュース。第1回の札幌での企画運営全般の総合プロデューサーとして指揮を執る。これまで、佐渡 裕、五嶋みどり、五嶋 龍、佐藤しのぶ、シエナ・ウインド・オーケストラをはじめ、国内外で活躍する数多くの日本人アーティストを世に送り出している。また、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタチェチリア国立アカデミー管弦楽団(初来日)、ロンドンシンフォニー、18世紀オーケストラ(初来日)、BBCフィルハーモニック、ベルリン・ドイツ交響楽団などの著名オーケストラや、レナード・バーンスタイン、クリスティアン・ティエレマン(初来日)をはじめとする著名指揮者、トーマス・ハンブソン(初来日)やクリスタ・ルトヴィヒ、エマーソン・カレット(初来日)をはじめとする著名音楽家の招聘も枚挙に暇がない。さらに、「佐渡 裕のヤング・ピープルズ・コンサート」や「サントリー1万人の第九」等、数々のイベントのプロデューサーを務めた。

現在、文化庁SBI子ども希望財団評議員、一般財団法人河合雄財団評議員、堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)エグゼクティブ・プロデューサー



【インタビュー記事】

私が本当に面白いと感じるのは、やはり人との出会いです。中学くらいからクラシックはたいてはオタクというほどではなかったにしろ興味はあったし、5年生の時にウエストサイドストーリーを見に行って、それを作曲した人とニューヨーク・フィルのシェフ(音楽監督、指揮者)が同じレナード・バーンスタイン^①だとわかった時、めちゃめちゃ感激しました。そのレナード・バーンスタインとの仕事につながったのも、数々の出会いが縁となっていました。

今の仕事について一番のきっかけは、登美丘西小学校4年生になった時、音楽の先生が各クラスから音楽に長けた学生を集めてコーラス部をつくったことです。4年の終わりが5年になった頃、大阪少年少女合唱団の1期生として、毎週難波の小学校に集まって練習をしていました。登美丘中学校では軟式テニス部で、中2のころからクラシックを本格的に聞き始めました。泉陽高校でははじめ、硬式テニス部に入りましたがちょっとしたことで辞めてしまいました。練習をしていたテニスコートに、音楽部のコーラスが聞こえていて、『やっぱり自分は音楽が好きなんだな』と思い、そのあと音楽部に所属しました。当時の音楽部は、近畿大会優勝など大阪の中でも夕陽高校と並んで優秀な成績をあげていました。ほとんどの高校は先生が指導するのだけど、泉陽だけは学生だけで練習をやる伝統がありました。私たちが3年生の時も、近畿大会は1位をとれましたが、残念ながら全国大会は1位がとれませんでした。

泉陽の11歳上の先輩が所属していた大阪メンズコーラスは、本当は大学卒業していないと入れなかったのですが高校の最後の方にに入れてくれて、彼が教えていた同志社大学のグリーククラブに入りたくて受験しました。なんとなく、音楽についてはコーラスや楽器を触ったりはしていましたが、別にプロになろうなんて思ったことはなかったし、やるならば歌かなとは思っていたけど、音楽大学に行くほどになかすごくうまくてよかったわけでもありませんでした。歌でやっていても、そのころの日本のアーティストはまだレベルも低かったし、ピアノも自我流でやっていたくらいなので結局はやめてしまいました。残念ながら同志社大学は不合格となり、一浪で龍谷大学に入学しました。しかし、結果的にはこれが良かったなあと感じています。特に龍谷大学に行くという明確な理由はなかったけど、いったら面白い大学だったし、そのころの出会いがすごくつながって、それがなけれ

ば多分いま、ここにいないんじゃないかなって思います。

当時尊敬していた福永陽一郎先生^②は、昔、藤原歌劇団のオーケストラの指揮をされておられ、晩年はクラシック音楽の評論とかをされていた方です。福永先生とは結構、お亡くなりになるまでお付き合いがありました。音楽の世界とバレエの世界はちょっと違うのですが、藤沢市でアマチュアのオーケストラやコーラスの指導や藤沢市長からのたつてのお願いで藤沢市民会館のお仕事をされておられました。私が東京に行っていた時に湘南に住んでおられたこともあって、相談とかしてくれるお付き合いでした。

私がこの仕事についたきっかけのひとつは、大阪国際フェスティバルという村山美知子さん^③が立ち上げられたところでアルバイトをしていたことです。大阪を出たのは27歳の時で、30歳の時に自分の事務所をつくりました。事務所を設立したころは、日本人のアーティストで商売はできなかった時代でした。お客さまがプレイガイドでチケットを買ってホールが満杯になる日本人がおらず、そういう中で自分のところをリスクを持って演奏会をするというのはほとんどありませんでした。だからこそ日本人を、リスクを持ってやることを決意し、どういうことをしたらいいかを考えてきました。若かったということもあって、ほぼ飛び込みで仕事をつくってきました。ヨーロッパ、アメリカは1カ月に1回とか2回とか、場合によっては日帰りで行っていたこともあります。今では日本人アーティストも『徹子の部屋』にも出るようになりましたが、そのきっかけをつくったのも私が初めてだと思います。プロデュースしてきた佐藤しのぶ^④、佐渡 裕^⑤、五嶋みどり^⑥もやっぱり人脈というか、出会いだと思います。

レナード・バーンスタインとのつながりも飛び込みでした。なにか面白いことをやりたいと、考えた企画が1985年8月5日に開催した“広島平和コンサート”でした。本当に四苦八苦しながらやったのですが、レナード・バーンスタインと一緒にやったことで、そこからいろいろなつながりが生まれました。バーンスタインとやった広島記念コンサートのあとには、札幌の音楽祭を行いました。バーンスタインから、彼の先生のセルゲイ・クーセヴィツキー^⑦がドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州で、当時のドイツの首相たちが力を貸してつくりあげた音楽祭の話を知り、そういうのをやりたいと思ったことがきっかけです。バーンスタインのマネージャーのハリ・クラウト、私にとってはいろいろ

なることを教えてくれたお師匠さんだと思っているんですけど、彼に言われて最初、中国の北京と上海で中国の学生や音楽をやっている学生を集めて教育音楽祭をやろうという話が出ていました。当時、バーンスタインがロンドンで第一のトップオーケストラのロンドン・シンフォニーで指揮をしていたので、そのオーケを使ってやるということになり、スポンサーを私が引き受けることになりました。そうしたら天安門事件が起こって、こんな国ではできないということになり、日本でやるかということになりました。ちょうどバブルがはじける直前の年で、私の仕事は主に九州などの南の方が中心だったのですが、当時東京でジャズの仕事をしていた小樽出身のジャズの大きな事務所所属していた知人に聞いてみたところ、札幌に“芸術の森”という札幌交響楽団の練習場があると聞き、そこでやることになりました。今、札幌の音楽祭は7月からやっています。実は1回目はバーンスタインの体調もあって、6月からだったんです。私の誕生日が7月9日で、その日に1回目が終わったのですが、バーンスタインがちょっとパーティをしてくれて、それでその年に亡くなりましたね。日本に来るときも、もうほとんど駄目だと思ってたんですが、なんとか札幌の音楽祭(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)はやってくれました。ロンドン・シンフォニーのツアーでもあったのですが、東京に入っていたのにまたぐっ、ときて、サントリーホールで1回公演して、その後はキャンセルして佐渡とかマイケル・ティルソン・トーマスとか、若い指揮者でバーンスタインの代わりにやっただけですけどね。でも、札幌の音楽祭は全部きっちり終わりました。半年の準備期間でよくやったなと思います。どうしてできたのか、今でもわからないぐらいですね。ただ、スポンサーとして結構な金額を集めました。それで赤字になりました。

その赤字を返すのに、私の保証をしてくれた恩人がいたりして、その後、とりあえずがむしゃらに2年くらい働きました。おかげで日本人のアーティストも所属している8〜9割り近くの人が有名になり、なんとか食べられるようになってきました。札幌のフェスは今年で30年になります。1年目はうちがやりましたが2年目からは札幌市と契約して市に移管しました。『10年超えるまでとにかく必死に頑張ろう』といって、10年超えたとき、ものすごくうれしかったのを覚えています。それがもう30年です。たまたま、先輩が大阪国際フェスティバルにでたり、コー

ラス界では上の人の徳永先生とつながり、バーンスタインもそうですいろいろな人と出会って、長くおつきあいをしていくことが財産になっています。札幌の音楽祭の赤字が出たときに私の信用を担保してくれた恩人の渡辺あきお先生、早く亡くなられたけどその奥様は鳩山一郎総理大臣の長女の長女でした。その方がいらっしやなければ、バーンスタインとここまでやれていなかったと思います。迷惑をかけたくないと思って2年間がむしらはにたらいたことは、結果論ですが今につながっていると思います。

佐渡 裕との出会いも偶然でした。ボストンの郊外でバーンスタインの先生であったセルゲイ・クーセヴィツキーが創設した教育音楽祭に彼は書類選考で落ちたそうです。その時に大阪大学の指揮の人に送っていたビデオテープをスタッフが見て、『こいつなにか面白くてすごいぞ!』ってことで小澤征爾さん⁽⁸⁾のところに行ったら、スカラシップで教育音楽祭に行けることになりました。約2カ月ちょっとの間にバーンスタインのレッスンがあって、彼も佐渡の先生をすごく気に入ってバーンスタインと彼の先生、私の師匠でもあるハリー・クラウト(レナード・バーンスタインのマネージャー)から、『日本に帰ったら佐野に会いに行け!』と言われるらしいです。私は知らなくて、たまたま知り合いの音楽事務所のところに電話したときにそこに佐渡がいて、つながりが生まれました。佐渡と最初に会った日に今でも覚えているのは、『いくらぐらい稼いでるの?』っていう話をしたんです。会った日に『どうやってんの?』ってきいたら、学校周りのオーケストラの指揮者をしたり、いろいろなことをして、1件あたりは2万円とか3万円の報酬らしいけど月収は結構な額があったらしく、9つ上の私の給料より全然高かった。でも、『それやめらる?』と聞いたら、『やめます、やめられます!』って即答でした。小澤さんも言われたのだと思うけど、そんなしょうがないしょうもない仕事やっても、なにもこれからセトアップできませんからな。『お金じゃない?』とそう言ったときに、レニー(バーンスタイン)のいるところで何かイベントがしたいという話になりました。当時、佐渡はニューヨークに行きたいと言っていたけど、ニューヨーク・フィルの練習を見せてくれるわけでもなく、コネとかもいろいろなかったようです。バーンスタインの事務所連絡したら、彼がいるウィーン・フィルのウィーンに話になりました。ウィーン、ベルリンって結構、そういう若い人たちが練習とか、見たりできる環境があるのです。2年間だけの期間でしたが、これも今につながっています。

それまでクラシックは見えない人は見えていなかったですが、特に90年くらいからは、ホールを造ったのも功を奏してお客さまもすごく増えてきています。いま、じっくりと俯瞰してみていると、クラシックの業界は世界でもすごく変わってきています。別のジャンルでは藤井聡太くんとか囲碁でも10歳のプロがでてきています。五嶋みどりの弟の五嶋 龍⁽⁹⁾も5歳から見始めていますが、若い世代が出てきています。私は中学校のころ軟式テニスをやっていたのですが、当時は大学生に中学生が勝つなんてことはほとんど聞いたことがありませんでした。今は中学生が大学生に勝つどころか、オリンピックにも関わっている時代ですね。クラシック界もこの20年ですごくかわってきています。世界のトップクラスの指揮者が30歳代から40歳代半ばまでの年齢が占めてきています。ピアニストも20歳代のすごい人がでてきています。バイオリンもトップクラス近くに行くと、ストラディバリウスとかのいいバイオリンを使うようになってきますが、お金がないとできないのがYouTubeなどで、地球上のどこにいても才能のある人の音楽が聴けるようになり、知られるようになってきています。20歳代のピアニストでリュカ・ドゥバルグっていうんですけど、まだまだ有名ではないですが凄いですよ。そういう人がたくさん出てきています。人に知られるきっかけが、もう何十倍にもなっているから、才能のある人と結びつく確率がものすごく高くなってきています。

去年(2018年)の9月ぐらいに、世界トップのベルリンフィルの指揮者に就任したキリル・ペトレンコも、世間ではあまり知られていませんでしたが、選ばれています。ベルリンフィルの前の指揮者のサイモン・ラトル⁽¹⁰⁾とかクラウディオ・アバド⁽¹¹⁾とかは有名な指揮者ですが、今の人はそういうトップクラスの人に憧れてとか、尊敬してこうなりたいというのがほとんどなくなってきていますね。野球の大谷翔平もそうですが、クラシックの世界も、トップクラスの世界中で5番くらいの人でも『この人に憧れて』とかは言わなくなってきています。嫌みではなくてここまで自分の閥値を高く持っているか、という時代にジャンルを問わずなっています。野茂、イチローとかそのあとには大谷翔平とか、変な意味じゃなくてストイックな人たちがでてきています。お金は後からついてくるって多分思っているし、結果としてすごい報酬を得ているけどたぶん何も思っていない。自分の進む道のプライオリティーをきちんと考え、持っている。本当にトップの人は結構そういうところがあると思います。この年になって、こういう時代になって良かったと感じています。フェニーチェ堺の仕事も、佐渡からのつながりで始まっています。前の市民会館は、私はまずここで演奏会を聴いたことがありません。そんないいものじゃなかったし、貸し館だったから近所の大人とかそういうのばかりだったと思います。50年近くの歴史がありました。要するに自分のところで自主事業をいっばいやってきたわけではありません。竹山市長の2期目だったでしょうが、たまたまキョードー大阪の主催で佐渡が出演している演奏会にうちの家内が行ったら、キョードー大阪の社長が『市長とか副市長とか文化振興財団の理事長に紹介したい』と言うので会いました。あんまりそういう名刺交換だけとかは邪魔くさいから好きじゃないのですが、1時間近く話し込んでる内に狭間副市長が『佐野さん、堺出身ですよ。どちらの高校だったんですか?』と聴かれて、『泉陽高校です』と答えたら、『私もなんです』という話になりました。しかも彼女も音楽部。そういう山本直純さん⁽¹²⁾のあとをついで、佐渡が20年近くやっている、『1万人の第九』でも泉陽のつながりがありました。ある年の企画で、平原綾香さんに出演いただきましたが、第九の3楽章に『自分で歌詞つけてごらん』ってやったら、それがすごくうまくいきました。ちょうどお父さんがこられていて挨拶をしたのですが、その翌年にも楽屋にこられたら実は泉陽高校の音楽部の後輩でした。他にも市の文化課の課長職の女性も音楽部の後輩で、そういうつながりができています。フェニーチェ堺のお仕事のご依頼をいただいた時は、ちょうど家内が病気に罹りかけた時だったので、どうしようかなと思ったんですけど、最初の3年半は新しいホールをつくるアドバイザーを引き受けました。ホールは、概して偉人がつくってほしいという使いにくいものが多いので、いろいろ3年間話し合いながら丁々発止やってきました。結果論としては、すごくいいものが出てきたと思います。『もっとガラスの窓ふやしてくれ』とか、『舞台の大きさも奥行きもないと映せるものが限られてくる』とか、いろいろと進化する中でホールはすごくいいものが出てきました。レストランも普通はホールの中にあるものが多いのですが、外へ出したのも話し合いの結果です。ホールの奥行きなどについては、我が家と家族つきあいでしている舞台監督として有名な小栗さんが手伝ってくれました。小栗 旬さんのお父さんというほうが有名でしょうか。私はその方面のことはそんなに知らず企画をつくることとか表ばかりの人間で、後ろの方の機械のこととかはわからないので、今も佐渡がやっている兵庫の西宮のホールのオペラもやってもらっています。それで3年半かけて設計が決まって市民会館を潰すときから、『プロデュースをやってくれないか』というお話がきました。ちょうどうちの家内がもう駄目だという頃です。これも自分の生まれたところのご縁かと、お引き受けしました。フェニーチェ堺の1年目の企画はこれまで市民会館が何もやってこなかったという中で、『ここが見えるようにするにどうしたらいいか』とい

うことを考えてきています。昔は多分、ここで演奏会するといえ『どうせなら大阪に行く』となっていたんです。どこにお客さまがいるのかということが全くイメージできていないわけですね。市の人たちは『大和川以南には260万人の人がいる』と言うけれど堺には北から人がこない、ミナミにも人がいるというイメージがない。これまでも1,000人ぐらいのホールはありますが、2,000人のホールは初めてです。また、大阪のホールは全部民間なんです。堺には昔からのDNAがあると思います。豊臣秀吉が商人を連れてきて堺筋をつくりあげた。そういう流れがあるから堺には商人の町ができ、匠も育てていったのだと思います。この2年半、ずいぶん堺のことを勉強しました。堺の南宗寺には、そこで徳川家康が亡くなったという話が伝わっていますが、今まではうそだと思っていたことも本当だと思ふようになりました。だけど、そういうこととか歴史のことをほとんど市民が知らない。だから、フェニーチェ堺の広報誌をつくることも堺の歴史をちょっとずつ紹介しています。第一号の広報誌は、堺市の全戸に配布しました。ある意味、堺の文化の発信でもあるのです。先週(2019年6月15日)、フェニーチェ堺はまだオープン前で『トマシュ・リッテル ピアノ・リサイタル ～第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール優勝者を迎えて～』が開催されました。昨年ショパン財団がはじめて開催した「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」で優勝したピアニストです。ピリオド楽器とは、200年前くらいのパートーベンとかモーツァルトがやっていた頃のフォルテピアノという古楽器のことです。そのリサイタルの話がきて知ったのが、ピアノ修復師の山本宣夫さん(スペースクリストフ・オリ塚)です。私が行っていた登美丘西小学校の近所で、楽器の収集と修復をやっていた業界の中ではすごく有名な人で、このリサイタルでは、その貴重なフォルテピアノヤマモトコレクションから、ショパンの愛したピアノ プレイエル(Pleyel 1846年製)を借用されています(編者注)。まだオープン前でお金がとれないイベントでしたが、リッテルもすごく良かった。そういうことも含め、フェニーチェ堺をまず認知していただくことが大事と考えています。

“フェニーチェ”という名前は私がつけたわけではなく、参加していた委員会が決めました。公募が1,500件くらいきて『大阪らしく洒落みたいのがいっぱいあるから、そういうのやめようね』って提案して、文化課のみさんが100件まで絞ってくれました。その中に“フェニーチェ”というのがあったのですが、実はベネチアにテアトロ・ラ・フェニーチェというオペラハウスがあるんです。“フェニーチェ”を見たときに、テアトロ・ラ・フェニーチェが由来かと思ったら、『フェニックス』の意味だと聞いて『ああ そうなんだ』と思いました。堺にもご存じのとおりフェニックス通りがありますが、堺もテアトロ・ラ・フェニーチェもこの百何十年の間に何回も焼けています。元々、河盛さんという市長が不死鳥のごとくよみがえらうって、フェニックスと名付けたらしいですね。先日、京都の副市長と話しした時に、70数年前のこの町は、京都より第二次世界大戦以前は圧倒的に豪華だったという話を聞きました。私は昔から、人間が集まってひとつの文化ができるという中で、イメージがちゃんとできていないと物づくりにしても自分が考えることもなかなかうまくいかないと考えてきました。バーンスタインのところへ行くときも、そういうかなり明確なイメージをつくっていききました。堺の旧市街はみんな焼けてしまったから、町づくりのイメージが残っていないと思います。クラシックなんてちょっとこれだけがあるだけだけど、それがあって日本で日本中がイメージを持つことが可能になる。堺にきて2年半、かなりいろんなところを案内いただいて、これまで思っていたところと違うところもずいぶん見ましたから、この町をなんとかできないうちの思いがあります。だからこのホールを企画するとき、とにかく堺の歴史を入れていこうということも思っていました。先日100人ぐらいうらなムにアンケートをとったのですが、そういう成

果が出てきていて、認知してくれたんだという実感があります。いろいろなホールのお手伝いをやってきましたが、広報誌を家庭に残してきているのはこれまでありませんでした。最初に目黒のパーシモンという文化ホールをやった時に、いろいろリサーチを行っていましたが、紀伊國屋からの人の流れがあるのでよくレジのおばちゃんに『目黒のパーシモンって知ってらっしゃいますか?』と聞きましたが、知らない人いっぱいいて危機感を感じました。今回も適当にやっても認知度はあがらないだろうな、と危機感を持ってやっていました。一か八かというくらい、いろいろな手段で宣伝を行ってきたんです。クラシックのいいのをやっているところで、大きな看板を立てるなど、たとえばフェスティバルホールでもやりましたよ。それはそうと、すごい指揮者がいます。テオドール・クルレンツィス⁽¹²⁾という指揮者ですが、本当にクラシックの通の通の人しか知らなかった人だけ、チケットの売れ方がものすごい。日本公演の一部のうちが引き受けて、すごい数のチラシをつくってまきました。結局東京とか広島とかからも来場されて、2,500席くらいがほぼ埋まりました。演奏もものすごいです。普通は指揮者が手を下ろしてから拍手が出るのですが、フライングブラボー⁽¹³⁾といって曲が終わっていないのに『ブラボー』の音が『わぁっ』てなっている。いまだ、そんなことは絶対になく、オタク中のオタクばかりだったのでしょね。私が本当にクラシックのファンになった中学生の頃からはじめてのことでした。始まりもオケもそのままだし、指揮者もそのままだし、普通だったら誰かが一発で出るのに1分40秒、『し〜ん』って音しか聞こえない。私は1分くらいかと思っていたけど、あとでホールに聞くと教えていたらしく1分40秒だったらいい。結構長い時間ですから、心地のよい緊張感でした。今、ザルツブルグで世界一の音楽祭が行われていますが、その中心は彼です。東京3回、大阪1回の公演でしたがそこでもフェニーチェ堺のチラシをまいてきました。堺から東京に移住して40年あまり、同窓会はほとんど参加していなかったけれど、今は学年全体でやっており顔も出すようになりました。私は東京に行ったから、同窓生だった家内もこれまで行ったことなかったんです。札幌でパシフィック・ミュージック・フェスティバルをやった時

に品川さんから声をかけられて顔見ても全然わからなかったんですが、話をしているうちに大美野の西小学校に行っていたときの隅っこにあった家だとか、だんだん思い出してくる。こちらにきて82万の町だけどそういう偶然の出会いが結構あります。以前に家内がまだいるころに高校1年生の時の同窓会があって、こっちに来たときに30分時間を間違えて教えられて、遅れて会場の中料理屋に入ったら知らない人ばかりでドアを閉めたのですが、やっぱり間違いないので入ったら仲良かった辻本あつし(あつちゃん)にあって、あと高石の佐橋とかと仲良かったことを思い出したりしました。話をしていると、堺の消防長をやっているとか。別にけんか別れをしたわけではないけど大学に行って部活やアルバイトなどで没交渉になったのがまたつながりが生まれてきています。私の仕事人生もそろそろ終わりですが、ここから300メートルくらい自分が行った小学校の近くに帰ってきて仕事に取り組むのも、なにかすこく因縁を感じています。泉陽高校の同窓生だった、家内も今いたら喜ぶだろうなと思っています。

- [1]レナード・バーンスタイン(Leonard Bernstein、1918年8月25日-1990年10月14日)
ユダヤ系アメリカ人の作曲家、指揮者であり、ピアニストとしても知られている。アメリカが生んだ最初の国際的レベルの指揮者になり、ヘルベルト・フォン・カラヤンやゲオルク・ショルティと並んで、20世紀後半のクラシック音楽界をリードしてきたスター音楽家。
- [2]福永陽一郎(1926年4月30日-1990年2月10日)
日本の指揮者、編曲家、音楽評論家。兵庫県神戸市生まれ。
- [3]村山美知子(1920年8月16日-2020年3月3日)
日本の文化人。3代目現朝日新聞社社主。公益財団法人香雪美術館理事長。財団法人朝日新聞文化財団理事。大阪国際フェスティバル協会会長。
- [4]佐藤しのぶ(1958年8月23日-2019年9月29日)
東京都生まれ。大阪音楽大学付属音楽高等学校、国立音楽大学声楽専攻卒業。文化庁オペラ研修所に最年少で入所し首席で修了。文化庁芸術家在外研究員としてイタリアミラノへ留学。椿姫でデビューにして主役を演じる。帰国後のリサイタルではイタリアオペラを歌い、衛星放送を通して世界へ披露された。その後「スリカ」、「蝶々夫人」等のタイトルロールを次々に演じた。

- [5]佐渡 裕(1961年5月13日-)
日本の指揮者。兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ及びウィーン・トーンクンストラ管弦楽団首席指揮者。京都府出身。
- [6]五嶋みどり(1971年10月25日-)
日本で出生したアメリカ合衆国のヴァイオリニスト。国連ピース・メッセンジャー。現代におけるトップヴァイオリニストの一人。
- [7]セルゲイ・クーセヴィツキー(1874年7月26日-1951年6月4日)
アメリカ合衆国で活躍した指揮者、作曲家。1924年から1949年まで、ボストン交響楽団の実質的な終身常任指揮者を務めた。
- [8]小澤征爾(1935年9月1日-)
日本人指揮者。ウィーン国立歌劇場音楽監督を務めた世界的な指揮者。栄典・表彰歴として、文化勲章受章など。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団名誉団員、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団名誉団員、ボストン交響楽団桂冠音楽監督、セイジ・オザワ 松本フェスティバル総監督、新日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者など。
- [9]サイモン・ラトル(1955年1月19日-)
イギリスの指揮者。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督、ロンドン交響楽団の音楽監督。
- [10]クラウディオ・アバド(1933年6月26日-2014年1月20日)
イタリア・ミラノ出身の指揮者。ミラノ・スカラ座の指揮者、音楽監督、芸術監督。ロンドン交響楽団の首席指揮者、音楽監督。ウィーン国立歌劇場音楽監督。カラヤンの後任としてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督。
- [11]山本直純(1932年12月16日-2002年6月18日)
日本の作曲家、指揮者。京都府出身。1972年には小澤征爾とともに新日本フィルハーモニー交響楽団を結成、指揮者団幹事。代表的な作品として、童謡『歌えパンパン』、『一年生になったら』、『こぶためざつねこ』、TV番組『マグマ大使』、『8時だヨ! 全員集合』、NHK大河ドラマ『風と雲と虹と』、『武田信玄』、映画『男はつらいよ』のテーマ曲ほか多数。
- [12]テオドール・クルレンツィス(1972年2月24日-)
ギリシャ出身の指揮者。ノヴォシビスク国立歌劇場(英語版)の音楽監督。ベルミン国立オペラ・バレエ劇場の芸術監督。南西ドイツ放送交響楽団の首席指揮者。

むすびの会より

昨年度も、むすびの会から1組、128組目の良縁が生まれました。おめでとうございます!!
むすびの会では、現在、会員と委員を募集しています。現在、コロナ禍により活動を縮小していますが、ホームページをご覧ください。



《入会申込資格》

- 泉陽会会員並びに会員のお子様・お孫様
- 泉陽会会員のお知り合いの方

その他の詳細や懇親会の開催などにつきましては、泉陽会のホームページ(<https://senyokai.jp>)をご参照ください。泉陽会ホームページからもお申し込みいただけます。

「コール、いづみ」混声合唱団 団員募集

52期生、石若雅弥氏を指導者に迎え、5年目の合唱団になりました。現在は60歳~80歳までの団員構成です。
私たちの大先輩の「与謝野晶子」作詞に石若先生が作曲した曲「君死にたまふことなかれ」「春が来た」「春風」、また「フォスター名曲」「北の宿から」「恋の季節」等、先生の編曲した歌を楽しく歌っています。歌のレベルはと聞かされると、首をかしげなくなるレベルですが同窓生の和気あいのレッスンをさせていただいています。
年間演奏予定は、与謝野晶子フォーラムが5月に開催されます「君死に……」に出演いたします。
2021年2月28日先生が指導される合唱団が一堂に集まる演奏会を大阪「クレオ東」で開催します。卒業生の皆様と一緒に舞台上がりませんか。
練習会場は泉陽高校、同窓会館2階です。懐かしい校舎、生徒さんのすがすがしい挨拶に触れ、制服を眺めて、思い出に浸ります。卒業以来校門をくぐってない卒業生の皆様、男声大歓迎です。是非体験においでください。
指導者 石若雅弥
会場 泉陽高校、同窓会館
練習日 毎月、第1、3月曜日、午後1時30分~3時30分
学校の行事で変則もあります。電話で確認ください。
問い合わせ 上田いづみ(090-9163-0676)
杉野弘子 (080-5326-3094)

旭堂南陵さん(西野康雄さん S43年卒20期)を偲んで

泉陽会の代議員としても永らく貢献いただいた、講談師の旭堂南陵さんが令和2年7月30日に亡くなりました。当誌にもいろいろと記事をお寄せいただいております、心より感謝申し上げます。現役時代に高校での講演を拝見し、しばらく『さて、さて、さては南京玉すだれ〜』が頭から離れなくなった覚えがあります。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。写真は泉陽会の懇親会、忘年会にご参加いただいた際のもです。



令和元年 旭日中綬章、水木十五堂賞受賞

(受賞にあたって、記事と写真、受賞記念講演のパンフレットを提供いただきました)

昭和43年卒20期 西野康雄

20期生で講談師旭堂南陵こと西野康雄さんが、令和元年初の叙勲で旭日中綬章をお受けになりました。参議院議員であったことや、文化芸術学博士であったことが国に認められたもので、ビートたけしさんですら小綬章でしたから、重みのある勲章であることがわかりかと思えます。また長年の研究活動に対して、大和郡山市主催の水木十五堂賞も受賞。こちらも作家、博物学者の荒俣宏さんや、歌舞伎の市川猿之助さんらが受賞しています。なお、叙勲の際には祝電をいただき、ありがとうございます。



西野康雄(講談師 旭堂南陵)さんを偲んで

昭和43年卒20期 岩崎勇作

それは突然で予想外の電話でした。「西野君あの南陵が今朝亡くなったらしいよ」ある同級生から7月30日夕刻に入った知らせでした。「えっ、ほんまか？」俄かに信じられない悲し過ぎる知らせでした。でも何とも言えない前兆が私にはありました。それは遡ること一週間前の23日にあった西野君からの二度にわたる着信でした。悔やまれることに二度とも電話に出ることができず、一時間後にこちらからコールしても応答なし。次の日も不在で、結局何の用件か判らないままに、もたらされた訃報であった事です。何を伝えたかったのか、何を言い残したかったのか。今もこれからも悔やまれてなりません。

「南陵さんの追悼文をお願い出来ますか」との依頼があった時、正直自分の中では彼の死が現実のものとは信じたくない気持ちで、「追悼」や「偲ぶ」なんてもっと後のことやお断りを考えました。しかし彼からの不在着信のことがあったので、自分には書くべき役割(責任)があるのではないかと、考えを改めました。

西野君との思い出は、西宮での<参議院選挙>、小南陵時代のワッハ上方や国立文楽劇場での<独演会>、多くの<受賞パーティー>、五年毎の<学年同窓会>と沢山ありますが、その中からここ最近の出来事を書かせて戴きます。

昨年2019年6月22日(土) シェラトン都ホテルで開催された“南陵めでたづくしパーティー”に、西野君本人から「時間あったら来てや」の電話で同級生4名とともに参加。関西各界の著名人と全国各地の熱烈な南陵ファン、総勢400名を超える盛大な催しでした。その催しの目的は、“ブームがやって来た講談会”の発展のために精進して頑張ります、との決意表明的なパーティーでした。しかし、今となっては参加していた南陵ファンにとって、まさかの「お別れ会」的な集まりになってしまいました。

西野君の活躍は多くの同期生にとって誇りでした。皆様の中にも「あのテレビに出てる旭堂南陵は高校の先輩(後輩)やねん」と話題になった事でしょう。私達20期生は特にその思いが強く、講談を広める地道な活動だけに留まらず、文化的学術的に評価の高い<歴史や言葉の研究・出版における活動>など、彼が活躍する姿を応援してきました。

そんな多忙な状況であるにもかかわらず、5年に一度開催される“学年同窓会”の準備から当日の進行まで、大変な役割を果たしてくれていました。昨年11月23日には“古希を祝う会”の企画で70名を超える同期生が集まりました。開催日直前に生じた会場変更という不測の事態にも、西野君が急遽別の会場を手配してくれたお陰で無事に開催することが出来ました。当日は彼と一緒に会場(山之口商店街)近くのスーパーまで買い出しに行きました。「ちょっと膝が痛いけど元気で」と、重



たいスーパーの袋を両手一杯に持って歩く姿が思い出されます。でも今から思うとアルコールに弱くなってしまったようにも見えましたし、結びの挨拶では5年毎の同窓会を2年毎にしたいとの提案も自らしていました。ひょっとしたら周りの人たちに心配をかけたくない思いから、病気の事を隠していたのかもしれない。

また彼は同期生から「西野、西野君、と呼ばれる事が気持ちええんや」と笑顔で話していました。多分「師匠、先生」と称される世界で生きていると、私達には理解できないストレスや苦悩が多かったのかもしれない。

ここ数年の西野君は総白髪がよく似合う渋い風貌となり、笑うと好々爺、真顔では妖気漂う陰陽師のようにも見え、演じている時にはその迫力に引きずり込まれました。本当なら、これから10年20年と講談界の大名跡四代目南陵として活躍し、また時々の俳優業では多くの人を魅了する味わい深い役者を演じ、そして私達同期生と会えば、泉陽時代の少し悪ぶっていても優しくして面倒見のいい西野康雄君でいて欲しかった。

今後、同窓会幹事を引き継いで“傘寿、卒寿”の開催を目標に、もう少しこっちにおるから、そっちで奥様と仲良くしながら見守っててください。しばしのお別れです。

【第1号議案】令和元年度事業報告

1. 事務局

◎会議(執行委員会、代議員会)の状況の報告

●執行委員会

	年月日	内容
第1回	平成31年4月20日	委員会報告、総会報告
第2回	令和元年5月18日	委員会報告
第3回	令和元年6月15日	委員会報告
第4回	令和元年7月20日	委員会報告
第5回	令和元年9月7日	委員会報告
第6回	令和元年10月19日	委員会報告
第7回	令和元年11月16日	委員会報告 令和2年度予算案について
第8回	令和元年12月21日	委員会報告、忘年会開催
第9回	令和2年1月18日	委員会報告
第10回	令和2年2月16日	委員会報告、令和元年度決算報告 令和2年度事業案について
第11回	令和2年3月21日	委員会報告、令和元年度事業報告

※平成31年は4月30日までとし、5月1日より令和元年とする(以下共通)

●代議員会

	年月日	内容
第1回	令和元年10月19日	委員会報告、総会報告
第2回	令和元年12月21日	委員会報告、忘年会開催 令和2年度事業計画案について
第3回	令和2年2月15日	委員会報告、令和元年度決算報告 令和2年度事業計画案について

◎会館使用状況の報告

●会館運営

泉陽会館 使用状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

主なものを記載

- 執行委員会(代議員会含む) 11回
- 床清掃 11回
- 学校使用 108回
- 泉陽会使用 60回

内訳 むすびの会、泉陽合唱団「陽」、コールいづみ、軽音楽部、ダンス部 他

2. 組織委員会

◎令和元年度の総会に向けて

- 令和元年度「議案書の作成」
- 総会当日の役割分担
- 総会参加者の来賓・会員の「名札」の整理・新規作成
- 総会は来賓6名を含む76名 懇親会は来賓・会員合わせ80名の参加

◎令和元年度「公開講座」の報告

●7月20日(土)

テーマ: 悲しみから希望へ ～弟の命を通して～

講演者: 森 祐理(昭和61年卒・38期生)

参加者: 38名

内容: 森さんが母校に来校されるのは卒業以来のことだそうです。「阪神淡路大震災」で弟を失った痛みを通し、国内外の被災地へ心の救援物資を運ぶ働きを続けるほか、海外の飢餓貧困の地を訪ね、歌を通して、希望を届けている活動を語って下さいました。当初、コンサートでないために歌う計画はありませんでしたが、会場と一体となって、「故郷」「今日の日はさようなら」をみなさんとともに歌いました。

●12月21日(土)

テーマ: 地場産業の刃物産業に携わって

講演者: 福井隆一郎(昭和41年卒・18期生)(堺刃物商工業協同組合

連合会理事長・「堺チン電を守る会会長・泉陽高校サッカー一部OB会会長」

参加者: 35名

内容: 堺の名産で他県の人に語れるのは「堺の包丁」ベスト10に計上されると思います。堺の「包丁」は江戸時代から品質の高さで全国に知られていました。歴史ある堺の街で生まれ、この町で600年の伝統産業である堺打刃物について語って下さいました。阪堺電車は大阪で唯一の「路面電車」です。皆さんの関心が寄せられ、講演後多数の質問がありました。

◎第一回「クラブ交流会」開催の報告

●開催日時: 令和元年6月2日(日) 13:00～15:00

●開催場所: 南海グリラ東店

●参加対象: 泉陽高校出身で文化・運動クラブに所属していた方

●参加者: 来賓(武田温代校長・藤原大教頭・木村俊一常任顧問) 卒業生 68名 合計71名の参加。

●参加クラブ数: 運動クラブ 11部、文化クラブ 7部

●司会: 組織委員長 岡本 雄介(昭和52年卒・29期生)

●内容:

・武田校長先生が泉陽高校の現生徒の活動状況の報告をされました。運動部 21部、文化部 17部、全校生徒の93%が部活動に参加している現状。水泳部は800mの自由形でインター杯に出場他実績報告。文化部も運動部も盛んに活躍しているとの説明をうけました。

・OB・OGは各クラブ代表による3分以内の近況報告。在学中の出来事・現役生とのつながり、OBとの交流等を語って下さいました。世代を超えうちとけ楽しく過ごせました。

・清水 健さん(平成7年卒・47期生・陸上部) ビデオレター報告 / 元読売テレビアナウンサー、平成29年1月31日退職。退職後は育児と並行しながら、「清水 健基金」を通じての支援・講演活動を続けておられます。

●第2回の開催について

参加された方、あるいは参加されなかった方からも「是非、再度交流会を開催して」との要望があり、今年度も「クラブ交流会」の開催を予定しております。【今年度は中止】

◎120周年記念事業に関するクラブ交流

●三国丘高校との交流会は伊藤会長が三国丘高校の今西同窓会会長と面談して、120周年事業を説明し、より活発な活動をしたいと伝えました。

●野球部は定例の試合を現役、OB世代とも令和元年11月23日に実施。伊藤会長がOB戦観戦の感想は「活発な試合」であったと報告しました。

◎「二十歳の会」成人を迎える卒業生の同窓会支援

●開催日時: 令和2年1月7日(火) 18:00～20:00

●開催場所: アゴーラー・リージェンシー堺

●対象卒年: 平成30年卒・70期生

●参加者数: 215名(卒業生400名)

●例年通り、泉陽会から、連絡費等の若干の支援をしました。

3. 広報委員会

◎広報誌いづみの価値向上

●平成30年度の『いづみ読後アンケート』の結果を受けた、記事の質の改善

●いづみ読後アンケートの回答件数増加に向けた取組みの展開

平成31年度の回答は7件にとどまりました。(平成30年度8件)。平成30年度と比較し、アンケートの案内を表紙から裏表紙にしたことも影響があるかもしれません。アンケートの回答の中で、個人情報取り扱いについての懸念が数件寄せられました。外部委託を行うこともあり、従来から提案している個人情報保護規程の制定の必要性があると思われまます。

◎ホームページの活用についての広報委員会としての体制、手順の確立

●前担当者からの業務引継

●ホームページ管理者と広報委員会の直接アクセスの体制構築

●ホームページ掲載依頼から、掲載完了までの手順と体制確立

現広報担当者によるホームページ更新を行えるようになりました。更新頻度があまり高くなく、アクセス数増加には至っていないのが課題です。更新が一担当者だけの役割となっており、将来を見据えて分業体制を構築する必要があります。

4. 財務委員会

◎令和元年会計年度における入出金の管理

5. 名簿委員会

◎泉陽会の「いづみ」発送に伴う現況報告

	令和2年3月末現在	平成31年3月末現在
総会員数	38,244名	37,852名
新会員数	359名	392名
物故者数	4,179名 (令和2年4月7日現在)	4,085名
いづみ 発送部数	21,877名 (令和元年6月実績)	22,409名 (平成30年6月実績)
戻り部数	394件	613件

◎「名簿管理→業務委託」に対する取り組み・方針・実施の報告

上記掲題につきましては約2年以上の月日を費やしましたが、やっとみなさんのご理解と多数のご賛同を得ることができました。どうして「業務委託」にふみきったか経緯を報告します。

- 平成29年 会長に就任
平成29年3月に会長に就任。その折、名簿担当者から、「平成30年度の準備として、名簿管理、年会費納入状況表の作成が困難になってきています。名簿管理自体も個人情報保護の観点から同窓会独自の管理は難しい、「外部委託しなさい」と指摘を受けました。
- 平成30年度には1年かけて委員長会議、執行委員会で他校からの情報収集、システム改善等を検討しました。
- 平成30年6月発行「いづみ」会長の挨拶
「名簿管理の方法については今後検討していきたい」と活動の目標を明示しました。データ入力、財務の表印刷に支障があったので、新システムにする用意としてパソコン2台を購入、変更等の作業を行っています。
- 平成31年2月16日(土)第3回代議員会
○今のサーバーでは容量が少なくなっています。
○システムが古く改良が出来ません。
○システム等の改善を業者にこちらの要望を出して見積もりをお願いしたら1社(阪南ビジネス)だけでしたが約200万という回答があり、金額的に無理となりシステム開発はあきらめました。
○その際、前回の名簿発行時の多くの苦情等があり、名簿担当者から名簿は外部委託が必要不可避であると指摘を受けました。
○それを委員長会議、執行委員会で検討し、役員の高齢化と人員不足もあり業者選定し、委託を検討します。来年度に向け検討し、10月の執行委員会、12月の代議員会議に具体案を提示すると説明しました。質疑応答を行った結果、数点の問題点もあったので、その問題点を案に盛り込みます。
- 平成31年度 最初の委託
今年度の「いづみ」発送用の宛名を業務委託委託先：宏和印刷(株)
件数：22,000件
- 平成31年4月20日(土)第1回執行委員会
名簿管理については業者の委託をすすめる方針です。業者に管理して貰い、泉陽会も同じ名簿データを保管します。
- 令和元年6月発行「いづみ」会長の挨拶
「名簿管理につきましても、皆様からのご意見もあり、来年度にむけ、業務委託」の具体的内容を考えていきたいと思っております。方針の期限を明確にしました。
- 令和元年9月7日(土)第5回執行委員会
外部委託の場合は(株)サラトに決定。泉陽会との二元管理となります。「いづみ」の印刷は従来通り 宏和印刷にする予定です。
- 令和元年10月19日(土)第6回執行委員会、

詳細は本日、及び今後の話し合いでもってすすめていくとして、数年間にわたり「外部委託」討議の内容を了承して頂きたいとのべ、最終的に承認されました。

- 令和元年10月19日(土)第1回代議員会
名簿管理、「いづみ」の発送について、執行委員会で原案を討議し、作成。原案を整理。代議員の方より、今までに十分検討されているので「外部委託」に賛成という意見のもとに、代議員の賛成多数で承認されました。
- 令和2年1月18日(土)執行委員会
甲と乙との質疑応答がなされ、契約書に捺印されました。
業務委託 内容・費用
甲(管理委託者)：大阪府立泉陽高等学校同窓会 泉陽会
乙(管理受託者)：株式会社 サラト
有効期限：令和2年2月1日から令和3年1月31日とする。
ただし、契約期間満了の3ヶ月前までに甲または乙から特段の申し出がない限り、自動的に1年延長されるものとする。名簿管理の年間保守料約10万円は特別価格。

6. むすびの会委員会

- ◎令和2年1月末現在会員数
男性 30名(入会者1名)
女性 28名(入会者 名)
- ◎発足から令和2年までの成立127組
令和元年度の一組の成立は両者ともにむすびの会員でした。
- ◎公開閲覧会
日時：令和元年6月16日(日)午後1時～
場所：泉陽会館2階
- ◎秋の会員・委員懇親会
日時：令和元年10月27日
場所：ハーベストの丘
- ◎新春の懇親会
日時：令和2年1月26日(日)
場所：泉陽会館2F

7. 同好会

7.1 晶子研究会

- ◎令和元年度より廃部しております。
- ◎令和元年度「与謝野晶子倶楽部」事業計画
若谷 佳美さん(昭和55年卒・32期生)が朗読で参加。

7.2 ゴルフ同好会

◎令和元年度 ゴルフコンペ報告

定例会合	開催日時	開催場所
第132回	平成31年3月15日(金)	天野山C.C.
第133回	令和元年5月17日(金)	天野山C.C.
第134回	令和元年9月13日(金)	天野山C.C.
第135回	令和元年12月6日(金)	天野山C.C.

7.3 混声合唱団「陽」

◎令和元年度(活動報告)

- 練習回数25回(内泉陽会館使用22回)
- ステージ回数2回
大阪府合唱祭 6月9日(日) SAYAKAホール
関西混声合唱フェスティバル2月11日(月・祝) 豊中文芸大ホール

【第2号議案】 令和元年度収支決算報告(平成31年1月1日から令和元年12月31日)
【第6号議案】 令和2年度予算案(令和2年1月1日から令和2年12月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	令和元年度 予算	令和元年度 決算	令和2年度 予算
入会金	3,528,000	3,528,000	3,231,000
年会費	4,500,000	3,950,892	4,500,000
預金利息	1,000	33	1,000
その他収入*1	30,000	432,994 (明細A)	30,000
総会懇親会負担金	180,000	178,000	180,000
むすびの会	100,000	50,000	50,000
前年度繰越金	4,862,667	4,862,667	4,299,758
合計	13,201,667	13,002,586	12,291,758

明細A その他収入	金額
寄付 3期有志会一同	406,138
寄付 いちはつ会・旧制女学校46期	13,540
寄付 23期生一同	2,316
クラブ交流会収支差額入金	11,000
合計	432,994

明細B 総会費	金額
南海グリル・料理会場	700,000
懇親会催し物	50,000
総会会場盛花	20,000
総会資料	26,784
総会会場盛花用花瓶レンタル	5,000
総会式次第	1,600
合計	803,384

支出の部 (単位:円)

科目	令和元年度 予算	令和元年度 決算	令和2年度 予算
組織委員会	総会費	800,000	803,384 (明細B)
	事業費	300,000	142,144 (明細C)
事務局	事務費	800,000	528,200 (明細D)
	会館運営費	880,000	766,647 (明細E)
	会合費	200,000	82,200
財務委員会	慶弔費	50,000	40,000 (明細F)
	親睦費	200,000	150,000 (明細G)
	教育振興費	400,000	370,000 (明細H)
	卒業記念品	310,000	301,840
	振込料等	200,000	191,264
広報委員会	印刷代	870,000	893,496
	発送費	2,162,000	2,087,785
	IT管理	100,000	75,600
むすび委員会	200,000	149,486 (明細I)	
名簿委員会	消耗品費	50,000	32,832
	PC機器	150,000	87,950
修繕積立金	1,000,000	1,000,000	
記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	
小計	9,672,000	8,702,828	
予備費	3,529,667		
次年度繰越金		4,299,758	
合計	13,201,667	13,002,586	

明細C 事業費	金額
令和元年7月公開講座講師料	30,000
20歳の同窓会援助 70期生	50,000
令和元年12月公開講座講師料	30,000
クラブ交流会準備費用	32,144
合計	142,144

明細D 事務費	金額
コピー機リース料	127,008
電話・通信費	100,785
郵便料 往復はがき・切手など	99,995
輪転機リース	71,604
事務用品	58,323
茶菓代	33,578
コピー機トナー	21,600
配線コード	8,424
日用品	6,883
合計	528,200

明細E 会館運営費	金額
会館カーテン新調	630,000
毎月の清掃費	76,000
電気代	51,397
火災保険	9,250
合計	766,647

明細F 慶弔費	金額
開口神社初穂料	20,000
前教頭饗別	20,000
合計	40,000

明細G 親睦費(助成金)	金額
東京支部	100,000
堺市晶子倶楽部	50,000
合計	150,000

明細I むすび委員会	金額
行事費	56,410
通信費	63,680
交通費	10,230
印刷費	4,485
文具	14,681
合計	149,486

明細J 名簿委員会	金額
名簿管理システム年間管理	64,800
新入会員データ入力	12,700
インクジェットプリンター	10,450
合計	87,950

明細H 教育振興費	金額
泉陽高校音楽部	20,000
泉陽高校吹奏楽部	20,000
泉陽高校ダンス部	20,000
泉陽高校軽音楽部	20,000
泉陽高校弦楽部	20,000
軽音楽部全国大会 japan student jazz	30,000
ダンス部全国大会・日本高校ダンス部	30,000
ダンス部全国大会・第1回日本高校選抜	30,000
水泳部全国大会・第87回日本高校選抜	30,000
ストリートダンス部全国大会・高校選抜	30,000
陸上部全国大会・全国インターハイ	30,000
陸上部全国大会・全国選抜	30,000
美術部全国大会・第43回全国高校総	30,000
陸上部近畿大会・近畿高校駅伝大会	10,000
陸上部近畿大会・第52回近畿高校	10,000
水泳部近畿大会・第73回近畿高校選抜	10,000
総合計	370,000

泉陽会 令和元年末 財産目録 (令和元年12月31日現在)

通常会計	金額	
現金	50,244	財務委員会
普通預金	1,405,573	三菱UFJ銀行
普通預金	1,885,205	池田泉州銀行
郵便振替	564,258	材木町郵便局
郵便振替(名簿口座)	394,478	材木町郵便局
合計	4,299,758	

修繕積立金	金額	
定期預金	7,114,182	三菱UFJ銀行
定期預金	6,002,426	池田泉州銀行
定額定期委預金	2,012,064	材木町郵便局
合計	15,128,672	

記念事業積立金	金額	
定期預金	3,023,371	三菱UFJ銀行
定期預金	5,840,271	池田泉州銀行
定額定期委預金	6,193,183	材木町郵便局
合計	15,056,825	

【第3号議案】 監査報告

監査の結果、執行されていると認めます。
 令和2年1月25日 会計監査 赤松健次
 会計監査 志尾喜久子

【第4号議案】 令和2年度 役員改選(案)

伊藤会長、今西、山崎、高木3名の副会長、赤松、志尾2名の会計監査はこの3年間、同窓会の運営に尽力しましたので、再選を推薦します。酒井氏は事務局委員長として数年間、同窓会の運営に尽力しましたので、副会長に推薦します。

泉陽会会則(平成28年4月改正)第8条

「本会の役員等の任期は3年とする。再任は妨げない。」に基づき、下記の通り役員改選の提案をします。

役職	役員名	卒年	期	改正	役職	役員名	卒年	期	改正
会長	伊藤 裕康	昭44年	21期	留任	副会長	高木 学	昭55年	32期	留任
副会長	今西 和代	昭42年	19期	留任	会計監査	赤松 健次	昭44年	21期	留任
副会長	酒井 正博	昭46年	23期	新任	会計監査	志尾喜久子	昭35年	12期	留任
副会長	山崎 博行	昭49年	26期	留任					

【第5号議案】令和2年度事業計画(案)

※令和2年度事業計画(案)については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現時点に於いて既に中止・延期・変更等をせざるを得なかったものがあります。また、今後についても、中止・延期・変更等をする場合がありますのでご了承願います。

1. 事務局

- ◎今年度の計画
 - 令和2年度日程を作成、これに基づき活動する。
- ◎事業継続(在校生支援活動)
- ◎会議 執行委員会 月1回(但し、8月は休み)
 - 代議員会 年3回
 - (会議開催の前日の金曜日の午前中に清掃業者による床清掃 11回)
- ◎慶弔規程により電報等の発信
- ◎卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- ◎各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- ◎会館運営管理

2. 組織委員会

- ◎総会の割り当てと合理化
 - 役員の役割分担
 - 懇親会担当学年と打ち合わせ(昭和56年卒・33期生)
 - 「議案書」名札等総会に向けて作成
- ◎「公開講座」は年2回実施する。
 - 令和2年7月 講演者 昭和55年卒・32期生若谷佳美様 【中止】
 - 令和2年12月 【中止】
- ◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回の開催について
 - 昨年の参加者からは開催の希望があり、開催の予定でしたが、本年2月よりの「コロナウイルス」の影響のもと中止せざるを得ません(新型コロナウイルスの影響で今年度は中止)。
- ◎三国丘高校との交流 今年度は中止
- ◎「二十歳の会」成人を迎える卒業生の同窓会支援
 - 前年度に引き続き、平成31年・71期生の同窓会に向け、通信費等の若干の補助程度の支援をするものとします。

3. 広報委員会

- ◎広報誌いづみの価値向上
 - 高校120周年あわせて泉陽高校出身の著名人からの記事投稿を依頼します。読後アンケートは表紙に設置し 回答数増加をめざします。
- ◎ホームページ活用についての広報委員会としての体制、手順の確立
 - ホームページのアクセス数増加の取組みをします。
 - 少なくとも月1回の更新を目標とします。
 - ホームページ更新担当者を増員します。
 - 記事募集のルートを新規に作成します。

4. 財務委員会

- ◎令和2年会計年度における入出金の管理
- ◎年会費振込についてコンビニエンスストアの活用を図る。

5. 名簿委員会

- ※1 会報「いづみ」NO.52は本年9月発行予定
- ※2 発送業務については本年度は(株)サラトに依頼する。

	作業内容	名簿	委託
1月	システム年度更新作業	○	
4月	新卒者入力		○
5月	振込用紙(宛名シール)作成		○
6月	いづみ発送※1	○	※2
7月	いづみ戻り分、不明者を把握し一覧表作成。代議員に住所不明者一覧表送付、調査依頼、保存用名簿作成	○	
9月	東京支部所属の会員リスト作成。保存用名簿作成	○	
年間	会員の住所変更届を都度入力	○	
年間	各期同窓会用・各クラブ用名簿ラベル印刷	○	

6. むすびの会委員会

- ◎公開閲覧会
 - 日時：令和2年6月予定 【中止】
- ◎秋の懇親会
 - 日時：令和2年10月予定 【中止】
- ◎新春の懇親会
 - 日時：令和3年1月予定 【中止】

7. 同好会

- ◎令和元年度より、「晶子研究会」は廃部しております。
- ◎令和2年度5月25日(金) 福祉会館にて「晶子フォーラム」開催の予定ですが、追って詳細をお知らせします。

7.2 ゴルフ同好会

定例会合	開催日時	開催場所
第136回	令和2年3月13日(金)	天野山C.C.
第137回	令和2年5月15日(金)	天野山C.C.
第138回	令和2年9月11日(金)	天野山C.C.
第139回	令和2年12月4日(金)	天野山C.C.

7.3 混声合唱団「陽」

- ◎令和2年度(活動予定)
 - 練習回数24回(内泉陽会館使用22回)
- ◎ステージ回数2回
 - 大阪府合唱祭
 - 令和2年6月14日(日) SAYAKAホール→中止
 - 関西混声合唱フェスティバル
 - 令和3年2月11日(木・祝) 豊中文芸大ホール

【第7号議案】記念事業積立金の活用について

当校は令和2年に創立120周年を迎えます。記念事業に対する積み立てに対し、学校側も毎年積み立てしており、『記念式典(中止決定)』、『記念誌発行』に使う予定。泉陽会側は『食堂の改修(エアコンの設置等)の費用を出資』する予定(令和元年7月執行委員会)。食堂改修費用は同窓会「記念事業積立金」1,500万円で行う。エアコン設置他、『生徒が研修できるような施設も追加で設置』する。『アスベストの処理』が必要である。(壁付けにして問題なし)(令和2年1月執行委員会) 令和2年2月代議員会でみなさんに提案しましたが、上記はみなさんにいきわたっておらず、資料をもとに改めて審議してほしいとの意見がありました。今回の120周年記念事業に対して、学校側と数回話し合いの機会をもち、その話し合いの中で訴えられた生徒達の現状と切実な要求を取り纏めております。尚、学校側に寄付できる金額は当議案書10ページ「記念事業積立金」を7月の執行委員会においても検討しましたが、今後の執行委員会、代議員会議で案を練り、来年度4月総会で承認を得て実施していこうと思っております。

【設置の意義】

学校の食堂は、昼休み時の食事はもちろんのこと、放課後などにおいても生徒同士がくつろぎ、語らう場でもあります。しかしながら、本校食堂には空調がなく、汗をかきながらの食事となり、放課後は利用をためらうなど、必ずしも利便性の高い場所とはいえず、熱中症も懸念される場所です。生徒からは機会あるごとに「空調」をつけてもらえないかという要望が寄せられています。保護者からも再三環境改善の依頼を受けています。しかしながら、教育庁の整備計画には食堂の空調設置計画はなく、学校にもその予算がないことから、生徒・保護者には、なんとか我慢してほしいとお伝えしております。こうした状況のもとに、この度、学校創立120周年記念行事に併せて空調設置について、ご検討いただけることとなり、寄付していただくことにより、生徒の教育環境の充実・向上が見込まれ、保護者や同窓生・来校者にとっても有意義なものとなると考えており、本校一同感謝しております。(上記掲題について学校側と泉陽会会長・副会長とで話し合われた、学校の現状と寄付の必要性について纏めて報告致しました。)

令和元年度 広報誌いづみ(第51号) 読後アンケート

令和元年度の読後アンケートの結果は、下記のとおりです。昨年度に引き続き、回答件数は少なかったですが、お寄せいただいた意見はできる限り取り上げ、誌面の充実につなげたいと思います。今年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

1. 回答件数

昨年度	回答 8 件(21~30期 5 件/31期~40期 3 件)
今年度	回答 7 件(~30期 2 件/30期~ 4 件)

回答 2 件についてはご逝去のご連絡であり、実質的には5件の回答であった。5 件の回答はいずれも『いづみを読んだ』方の回答である。読まなかった方の回答をどのように収集するか、引き続き課題となっている。Facebook、ホームページでの案内をしているが、反応はない。

2. 【Q02】よかった記事を教えてください(複数回答可)

・公開講座(3票)
— 以下 1 票 —

- ・卒業生クラブだより
- ・泉陽高校だより(進路状況/教職員異動/行事)
- ・泉陽高校だより(現役クラブの活躍/軽音楽部)
- ・平成31年度 泉陽会総会・懇親会
- ・校長ご挨拶
- ・同窓会
- ・卒業生は今
- ・伝言板
- ・2018年度 広報誌いづみ(第50号) 読後アンケート
- ・各方面で活躍するOBたち

3. 【Q03】どのような記事に興味がありますか(複数回答可)

- ・泉陽高校(進路状況)の記事(3票)
- ・卒業生のお店、会社に関する記事(3票)
- ・各期(同窓会)の記事(3票)

— 以下 2 票 —

- ・泉陽高校(クラブ活動)の記事
- ・泉陽会(同好会活動)の記事
- ・教職員OBに関する記事
- ・堺市、泉陽高校近辺の情報

4. 満足度

総合満足度：満足 2 票/普通 3 票

読みやすさに関して、1票の不満があった。理由は不明。その他の量、質については満足、普通の評価であった。

5. 会費納入者のいづみへの掲載に対する意見

いずれの回答も『どちらでもない』であった。会費納入者かどうかは調査していないため、相関は不明である。よせられた意見は下記のとおりである。

- ・会費納入の促進のためであれば、赤い羽根のような方式の方がいいかもしれません。
- ・他校では掲載しているところもあるので匿名希望なども受け入れるならばどちらでも良い。
- ・本人の希望があれば良いと思う。
- ・掲載する意味は何ですか?人数くらいで構わないのでは?意見から類推すると、無断での掲載は抵抗がでる可能性が読み取れる。

6. 名簿管理の外部委託について

『どちらでもない』5票/『反対』2票

『賛成』票はなかった。よせられた意見は下記のとおりである。

- ・内部外部というよりはセキュリティを保てるかどうかの問題。
- ・個人情報の取り扱いを慎重にしてほしい。
- ・信頼のできる委託先なら良いと思います。
- ・委託先が信頼に値するの?よく外部委託をして情報漏洩したとのニュースがあるので心配。
- ・しかし、先般市議が名簿を使い選挙活動していたこともあり、色々難しい問題があると思う。
- ・個人情報の取り扱いについて、慎重さを求められる傾向にある。外部委託は決定しているが、個人情報保護に関する契約の締結に加え、泉陽会自らの取り扱い規約を定め、明示する必要がある。
- ・先般の選挙活動の使用についても、タイムリーに泉陽会で話し合いを行い、対応を公開して必要があったのではないかと。

広報委員会としては、個人情報の取扱いについての規則作成を、執行委員会に提案しています。

令和元年度 教職員異動

	出					入						
	職名	教科	氏名	転出先	備考	職名	教科	氏名	転入元			
転出	校長		武田 温代	本校(再任用)	定年退職	校長		武田 温代	本校(定年退職)			
	首席	英語	中川 明則	本校(再任用)	定年退職	首席	数学	石橋 義之	本校(教諭)			
	教諭		国語	高松 敬明	本校(再任用)	定年退職	教諭		国語	小島 文尚	東住吉総合高	
			国語	中辻美由紀	岸和田高				国語	長谷部朋子	泉北高	
			地歴公民	本多 康子	相愛高	定年退職			地歴公民	板橋 雪	堺東高	
			地歴公民	浅野 典夫	本校(再任用)	定年退職			地歴公民	福本 遼吾	(新採用)	
			地歴公民	上田 怜奈	福泉高				数学	野坂 太希	今宮工科(定)	
			地歴公民	前岡 悦司	貝塚高(再任用)	定年退職			保健体育	黒木 悠輔	藤井寺工高	
			数学	大住 陽一	本校(再任用)	定年退職			保健体育	山村 大	長吉高	
			数学	三ツ國大輔	成美高				英語	田辺 恵美	千里高	
			理科	鳥山 雅史	本校(再任用)	定年退職			英語	歳行江里佳	(新採用)	
			理科	杉中 周平	本校(常勤講師)	再任用満了		再任用		国語	高松 敬明	本校(定年退職)
			保健体育	赤坂 久雄	三国丘高(定)(再任用)	定年退職				地歴公民	浅野 典夫	本校(定年退職)
			保健体育	中筋 弘道	-	再任用満了				数学	大住 陽一	本校(定年退職)
			芸術(美術)	丸谷 吉隆	本校(非常勤講師)	再任用満了				理科	鳥山 雅史	本校(定年退職)
			英語	菅原 和也	-	退職		英語	中川 明則	本校(定年退職)		
			英語	藤縄 真敬	豊中高(教頭)		養護教諭		坂井 佳奈	泉鳥取高		
		実習教員		出来 享子	今宮高		実習教員		小倉 拓也	(新採用)		
									橋元 勝利	(新採用)		
転入	講師	理科	沖殿 佳祐	本校(常勤講師)	退職	講師	理科	沖殿 佳祐	本校(講師継続)			
		養護	巽 彩紀	淀川清流高(助教諭)	退職		理科	杉中 周平	本校(再任用満了)			
	事務	主査	中埜 高彦	堺上高			地歴公民	中小路伸矢	枚方なぎさ(非常勤講師)			
事務	主事	塩谷 千秋	成美高		事務	副主査	玉置三希子	学校総務サービス課				

令和元年度(72期) 母校の進路状況

国公立大学合格者数

大学名	学部名	2020年度	
		現役	既卒
北海道	農・理	2	
筑波	理工・社会国際・人文	3	
福井	工	1	1
信州	保健・工・農・理・繊維・経法	1	
岐阜	医(看護)・獣医		1
三重	生物資源・工・人文・看護		2
	医学(医)	1	
滋賀	経済・データサイ		1
京都	理・工・医(保健)・農		
京都教育	教育	1	
京都工芸繊維	工芸科学		1
	文・法	2	
	外国語	1	
	経済		
大阪	理・工・基礎工	5	1
	医学(保健)		
	薬		
	人間科学		1
	小 計	8	2
大阪教育	教育	7	
	国際文化・文・発達科学		1
神戸	理・工・海事科学	2	
	小 計	2	1
奈良教育	教育	1	
奈良女子	文・理・生活科学	1	
	観光	2	2
	経済	8	6
和歌山	教育	2	
	システム工	10	1
	小 計	22	9
鳥取	工・農・生命科学・保健	1	
島根	法文・生物資源・総合理・人間科学		1
	医学(医)		1
岡山	法・工・経済・薬・文・保健		2
広島	経済・工・理・文・法	1	
九州	工・理・芸術工・農		1
	国立大学合計	52	23

私立大学の合格者数

大学名	2020年度	
	現役	既卒
酪農学園	1	
青山学院		2
東京通信	1	
早稲田		3
上智		1
北里		3
専修	2	
駒澤	1	
東京農業		1
日本		1
法政		8
明治	2	1
神田外国語		1
フェリス学院	1	
立教		1
京都外国語	6	3
京都産業	9	1
京都女子	21	
京都橘	4	
京都文教	1	
同志社	24	12
同志社女子	26	5
佛教	1	
立命館	17	25
龍谷	32	9
追手門学院	5	
大阪医科	1	
大阪経済	12	
大阪経済法科	3	
大阪芸術	6	
大阪工業	46	7
大阪産業	6	
大阪学院	2	1
大阪樟蔭女子	1	
大阪体育	2	1
大阪電気通信	3	
関西	160	46
関西医科	1	
関西医療	13	
関西外国語	12	2
近畿	238	68
四天王寺	10	1
摂南	25	2
千里金蘭	6	
帝塚山学院	2	
梅花女子	1	
阪南	1	
桃山学院	20	16
森ノ宮医療	5	
大和	7	1
大手前	2	
関西学院	61	11
甲南	6	
甲南女子	5	2
神戸学院	14	
神戸芸術工科	2	
神戸常盤	1	
兵庫医療	2	
武庫川女子	81	
畿央	70	
帝塚山	1	
奈良	1	
私立大学計	983	235

関関同立近の合格者数

大学名	学部名	2020年度		
		現役	既卒	
同志社	神			
	文	1	2	
	社会	1	1	
	法	4		
	経済	4		
	商	4	1	
	政策	2	1	
	文化情報			
	理工	3	5	
	生命医科学		1	
	スポーツ健康科学	3		
	心理		1	
	グローバル・コミュニケーション			
	グローバル地域文化	2		
計	24	12		
立命館	文	1		
	産業社会	1	5	
	国際関係	6		
	法	1	3	
	政策科学	2		
	経済	2	2	
	経営	3	2	
	情報理工			
	理工	1	10	
	生命科学		1	
	薬			
	映像		1	
	食マネジメント			
	スポーツ健康科学		1	
	総合心理			
	計	17	25	
	関西学院	神		
文		7	2	
社会		12	4	
法		3		
経済		8	1	
商		18	2	
人間福祉		1	1	
国際		3		
教育		4		
総合政策		1	1	
理工		4		
計		61	11	
関西		法	23	3
		文	21	6
	経済	26	2	
	商	17	3	
	社会	14	6	
	政策創造	3	5	
	外国語	6	3	
	人間健康	5		
	総合情報	7	2	
	社会安全	3	1	
	システム理工	14	4	
	環境都市工	3	4	
	化学生命工	18	7	
	計	160	46	
近畿	法	19	9	
	薬	1	1	
	経済	33	3	
	経営	66	6	
	理工	48	13	
	農	13		
	建築	7	2	
	文芸	13	2	
	総合社会	23	13	
	国際	11	6	
	生物理工	1	10	
	工	3	3	
	医			
	産業理工			
計	238	68		
計	209	66		

大学名	学部名	現役	既卒
滋賀県立	人間文化・環境科学・人間看護	2	
京都市立芸術	美術	1	
京都府立	生命環境・文・公共政策	2	
	文	5	
	法	2	1
	経済	5	
	商	7	
大阪市立	医(看護)	1	
	理	1	
	工	8	
	生活科学	2	
	小 計	31	1
	現代システム科学・知識情報	2	2
	現代システム科学・環境システム		
	現代システム科学・マネジメント	8	3
	工学・電気電子		
	工学・機械		
	工学・物質化学		
	生命環境科学・獣医		
大阪府立	生命環境科学・応用生命科学		
	生命環境科学・緑地環境科学	1	
	生命環境科学・理学・自然科学	1	
	地域保健学・看護	3	
	地域保健学・理学療法	3	
	地域保健学・作業療法		
	地域保健学・栄養療法		
	地域保健学・教育福祉	1	
	小 計	19	5
神戸市外国語	外国語	3	2
神戸市看護	看護		
兵庫県立	経営・環境人間	1	1
	看護		
奈良県立	地域創造	4	
奈良県立医科	看護	1	
和歌山県立医科	保健看護	5	
	医学(医)		1
北九州市立	外国語・文・法	1	
	公立大学合計	70	10
国公立大学合計		122	33
		155	

2020 進路状況まとめ

大学等の合格状況

		四年制大学				短期大学		大学校	専門学校	公務員	就職
		国立	公立	私立	海外	国公立	私立				
72期生	男	32	40		1	0	0	0	0	0	0
	女	20	30		1	0	4	0	12	1	0
	計	52	70	989	2	0	4	0	12	1	0
既卒生	男	17	8		0	0	0	1	0	0	0
	女	6	2		0	0	0	0	0	1	0
	計	23	10	235	0	0	0	1	0	1	0

大学合格数の推移

	63期生	64期生	65期生	66期生	67期生	68期生	69期生	70期生	71期生	72期生
卒業者数	317	318	399	353	398	394	352	397	392	359
国公立大学	62	87	94	116	128	148	126	133	127	122
私立大学	19.6%	27.4%	23.6%	32.9%	32.2%	37.6%	35.8%	33.5%	32.4%	34.0%
私立大学計	401	487	656	517	767	884	536	796	840	983

進路決定状況

		四年制大学				短期大学		大学校	専門学校	公務員	就職	未定
		国立	公立	私立	海外	国公立	私立					
72期生	男	30	40	54	1	0	0	0	0	0	0	36
	女	19	29	129	1	0	2	0	7	1	0	10
	計	49	69	183	2	0	2	0	7	1	0	46
既卒生	男	17	8	24	0	0	0	1	0	0	0	0
	女	5	2	8	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	22	10	32	0	0	0	1	0	1	0	0

東京支部 活動報告

東京支部より同窓会、東京・江戸さんぽと、恒例の活動の記事をお寄せいただきました。東京支部も年々参加者が増え、ますますの盛況となっているようです。



東京支部同窓会

昭和53年卒30期 天野純一

令和初の同窓会は、昨年に引き続き私の経営する汐留ブルームードで開催させていただきました。今年は初参加の13名を含め、昭和19年から平成15年卒までの同窓生56名が出席。来賓として武田温代校長、堺市東京事務所 本池次長が出席されました。

最初に19年の永きに亘って会長を務めていただいた鈴木良之さん(昭和36年卒)が勇退され、私 天野純一が会長を引き継ぐ報告をし、新任の挨拶をさせていただきました。

武田校長には、進学状況・部活・来年の創立120周年記念式典の行事等についてお話していただきました。

今年の講演は、平成15年卒で法務省キャリアの江尻優さんをお願いいたしました。一昨年東京支部の問い合わせをいただいたのをきっかけに積極的に活動のお手伝いをいただいている中で、講演の依頼を快諾いただいた後、3月に入り急遽、札幌事務所への転勤が決まってしまいました。にもかかわらず、取り急ぎ開いた送別会の席で、「講演を引き受けた以上何があっても同窓会には札幌からかけつけ



る！」という力強いお言葉をいただき、「この女、なかなかやるな～」と我々は涙した次第です。彼女は全国の女子刑務所を担当していて、矯正施設(刑務所・少年刑務所・拘置所・少年院・少年鑑別所・及び婦人補導院)の収容者に対する処遇が適正に行われているかどうかを監督し、指導するのがメインの業務だそうです。最近では特に矯正思潮に沿った処遇方法について調査・研究を行っているそうです。決してお堅いなしばかりではなく、矯正施設内での隠語の話が出た時などは会場の皆を爆笑させ、初めて聞く興味深いお話ばかりで、最後には質問の手が沢山上がっていました。

締めは、おなじみ音楽部・フォークソング部出身者のリードで、女学校校歌・高校校歌・生徒歌を全員で合唱しお開きとしました。

第32回江戸・東京散歩



東京支部の春の行事「江戸・東京散歩」は、5月11日44名で神田川舟の会クルーズに参加いたしました。本会はYMCAの外郭団体がボランティア運営をしていて、神田川・日本橋川の浄化を目的とし、より近いところから水面を見て汚染された水質を確認し合おうと昭和54年から始められたクルーズです。年2回、午前午後計年4回しか行われない希少なもので、毎回申し込みが殺到するため、毎度前会長の鈴木さんにご尽力いただき、ボランティアガイドを務められている鈴木さんのお友達に特別に乗船券を確保してもらっている次第です。

午後1時30分に浅草橋の船宿 三浦屋前を出発し、神田川～日本橋川～隅田川～東京港潮運河～東京港(晴海運河・隅田川派川)～三浦屋前のコースで、約2時間のクルーズでした。船上から見える風景は、深谷あり、歴史的建造物ありで、石垣や掘割・町名・橋名にも江戸の香りが残っていて地上から見た世界とは別の多くの発見がありました。また前回とはコースが一部変更されていたようで、オリンピックの競技場や選手宿舎も見ることができました。江戸文化や現在の東京の状況を把握する良い機会となりました。

下船後は蔵前の隅田川に面したリバーサイドカフェ「シエロイリオ」で二次会を開き、34名もの同窓生が参加し、賑やかにすごし、最後は校歌を歌って散会いたしました。

第33回江戸・東京散歩



10月26日、東京支部秋の行事「江戸・東京散歩」で、下町情緒あふれる「谷根千(やねせん)」巡りをいたしました。

「谷根千」とは、谷中・根津・千駄木エリアのことを指します。ここは、文京区・台東区に位置しており、いわゆる「山の手」の一角にありながら、江戸～昭和の古い建物が残り今なお東京の下町としての風情を残す何か懐かしさを感じさせる地域なのです。

参加者は総勢30名。前会長の鈴木さんたち昭和36年卒と私の一つ下昭和54年卒のみなさんの参加が多く、昼飯時は大いに盛り上がりました。

食後は谷中銀座商店街を散策いただきましたが、土曜日だったせいもあり人通りが多く、沿道にある色々なお店もとても繁盛していた模様です。またこの辺りには野良猫が多くいて、お土産に猫をモチーフにしたスナック菓子を買っていった同窓生も多くいたようです。

この日の順路は、以下の通り。

日暮里～天王寺～谷中霊園～下町風俗資料館～根津神社～昼食～谷中銀座～解散 私としては個人的には、谷中霊園の徳川慶喜と愛弟子 渋沢栄一の墓所を見ることができとても感動いたしました。

同窓会報告

今年は新型コロナの影響で、同窓会の開催もなかなか難しいようです。また、みなさまが、同窓生と楽しいひとときをすごせること、このいづみでその様子を紹介できることを心より祈念しております。

お気軽な学年同窓会を終えて

昭和46年卒23期 幹事代表 長谷川雅幸 阿比野節子



平成29年5月第6回学年同窓会で「お気軽な同窓会」を開いて欲しいとのことで、組幹事で検討し、令和元年11月16日(土) アゴラリージェンシーホテルで開催しました。82名の参加がありました。

「お元気ですか?」の挨拶で始まり、途中で1年・2年の組に分かれての同窓会も行い、あっという間の2時間半でした。みなさんご協力のおかげで楽しい時間を過ごすことができました。「ありがとうございました。」今後の同窓会について組幹事で検討した結果、次回からの、学年同窓会の案内の詳細は「いづみ」に同封します(案内はがきは発送しません)。70歳になる令和4年ではなく、卒業後50年の令和3年ということも今回の学年同窓会で承認されました。

なお、今回の学年同窓会の残金2,316円は、泉陽会に寄付しています。次回もみなさんと会って、大いに語り合いたいです。

20期生同窓会

昭和43年卒20期 西野康雄

さる11月23日、20期生の同窓会が開かれました。遠くはオーストラリアからもかけつけた人もいました。それぞれテーブルを囲んでにぎやかに飲んだり食べたり、あっという間の4時間でした。参加できなかった人も「老々介護」、「自身の病氣」等70歳での理由でした。学校の公式行事でもありませんので、参加者に負担がかかりますので、何のお返事もいだけなかった方は次回からは案内を出さないことになりました。次回はチンチン電車を貸し切ってやろうなどと、いろいろなアイデアが出ました。



10期生同窓会のゴルフイベント

昭和33年卒10期 増田昭典

皆さんこんにちは、我々泉陽10期生のゴルフ仲間は、平成16年10月に12名の参加者で始めました。



その時の年齢は65歳でした、それ以後毎年春と秋に参加者20数名で行ってまいりました。今年の秋の30回目を区切りとして最終回としました。年齢も80歳になりました。15年間同級生30名余りがゴルフを通じ仲良く、楽しくお付き合いできましたことを喜びにしています。

30期生同窓会

昭和53年卒30期 徳田要市

令和2年1月4日にホテルモントレグラスミア大阪において30期の同総会を開催しました。恩師の先生方4名、同窓生146名と沢山の方々に

に参加いただきました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。4年ごとオリンピックイヤーの開催となってもう4回目です。今年はみんなが60歳の年ということで、還暦ならぬ「SENYO30'Sトリプル成人式2020」と銘打って3度目の成人式を楽しもうということにしました。出席者には「何か赤いものを身につけてくる」というドレスコードをお願いし、ベストドレッサーを選んだりして盛り上がりました。パーティの3時間はあっという間に過ぎ、そのあとの2次会にも約100名の方が参加してくれました。たくさんの方に集まっていただき楽しそうな顔を見るのは本当に幹事冥利に尽きます。



次回は2024年パリオリンピックの夏を予定しています。今回参加できなかった方、長らく参加していない方もぜひ楽しみにしてください。30期の皆さん、それまでお元気で!

11期生同窓会

昭和34年卒11期 酒井睦夫

風薫る快晴の令和元年5月25日(土) 南海グ
リル東館3階で来年傘寿を迎える第11期生48
名で令和初めての生存確認の集いを開催いた
しました。



最初に2組戸口安正君、山下忠光君、3組森
内昭夫君、4組長尾孝治君、杉多久美子さん
(旧姓住友)、7組佐竹昇君、森岡良一君のご
逝去の報に哀悼の意を表してご冥福をお祈り
し黙祷を捧げました。

柴山幹事の皆さん一応元気に参加して頂きよ
かったなぁ~の言葉に続いて、お孫さんの結
婚式、5年前の胃がんの手術後の最後の検診
でお疲れの所わざわざ出席下さいました行先
先生の来年は我々節目の年になるので十分体
気をつけて、健康寿命を長らえるよう激励の
言葉を頂きました。

引き続きゴルフ会の会長としてお世話して頂
いている武岡英紀君の乾杯の音頭で開宴しま
した。和やかな雰囲気初参加、久しぶり参
加された方々もすぐに昔に戻り笑顔での談笑
の渦となりました。

途中堺の名産が当たる抽選会で8名の方が当
選されて明るく、ユーモアを交えて近況報告
をされ2年後の再会を約し最後は長田君の一
本締めでお開きとなりました。

11期生忘年会

昭和34年卒11期 酒井睦夫

令和元年11月30日(土) 堺東「咲蔵」で総勢29
名の参加で開催いたしました。

最初にこの秋の叙勲で中村正明君が「瑞宝章
小綬章」の受賞決定に万雷の拍手でお祝いし
ました。

7つのテーブルは柴山君の乾杯の発声後はた
ちまち談笑の声につつまれて大いに盛り上が



たのは言うまでもありませんでした。
とりあえず医者に通いながらも元気に?参
加できた事を喜び合いながら和やかな雰囲気
を醸し出してあちこちで満面笑顔・笑顔の花
でした。

最後に初参加・久しぶり参加・叙勲受賞者・
3月4月生まれの方々7名の近況を交えた一
口コメントを頂き、長田君の一本締めで来年
も元気に参加できる事を願い閉会となりました。

《中村正明氏 略歴》

泉陽高校卒業後、大阪歯科大学卒業、同大学
教授就任。現在、大阪歯科大学名誉教授。

第13回 みゆき会同窓会

昭和26年卒3期 和田武子

昭和、平成、令和と三世代を戦時下の女学校
時代からの仲間達、そして三国、泉陽と別れ
たもの今も元気でホテルアゴラ・リーゼ
ンシー堺の景色の素晴らしい26階に集まりま
した。去年と、集まった21人は見た目はあま
り変わっていませんでしたが、唯、本下賀代
さん(旧姓中野)が出欠の返事がなく、自宅で
一人突然に亡くなって居られたとの事、倒れ
られた枕元には出席のハガキがあったそうで
す。女学校から5年間、ソフトボールのピッ
チャーで、大阪市や市外の学校へ遠征に行き
ガンバって来られた姿は忘れられません。
又、出席予定して居られた南海グリン東店
での第一回クラブ交流会でソフトボール部の紹
介の時に彼女が提供してくれていた当時裸足
でソフトボールをしている姿を、60名集まり
の後輩達にも見て頂き黙祷をしてくれました。
来年令和2年ホテルアゴラで、6月はじめ
金曜日に集まります。貴女も私もみゆき会
の仲間から消えない様に足元に注意して88歳
の足を運んでください。

世話人 田中登志子 池田康江
八田全子 中田滋子

和田武子さん(昭和26年卒3期)



いつも『みゆき会』や与謝野晶子関係の記事を
お寄せいただく和田武子さん、広報委員とし
ても泉陽会の活動に多大なご協力をいただい
ています。

戦争体験を次世代へ継ぐ手記「孫たちへの証
言」集にも原稿が掲載され、新風書房より今
年、販売されています。8月26日、読売新聞
の朝刊に堺空襲を経験した者として紹介され、
27日天満のようり文化センターで体験者ら
10人ほど手記を朗読されました。

泉陽高校卒業後、ドレスメーカー女学院師範
科を卒業し、パリでのニューデザインコンテ
ストで大賞を受けるなど、ファッションデザ
イナーとして知られる一方、テレビ創世記の
タイトル画を手がけるとともに、ABCテレビ
「奥様チャンネル」準レギュラーや読売テレ
ビ「11PM」のご出演など、文化人として活躍
されてこられています。

日本画については、ふくよかな晶子、厳しい
表情の晶子、ファッションブルな晶子など
など、晶子像を多数描かれており、「和田武子
の室」と題された画集に載った100作品のうち
の約1割が晶子像となっています。

『もう、手を伸ばせば88歳、元気な内にと
思いう「堺空襲、焼ける寺の防空壕から母と逃
げる」をテーマに、戦争を知らない後輩達に伝
承してゆく義務もある」と、これからの決意
をお寄せいただきました。

成人記念同窓会(平成30年卒70期)

木村佳起/井田則可

私たち70期生は泉陽高校を卒業してから2年がたち、
成人となりました。成人祝いとして、令和2年1月7
日にホテル・アゴラリーゼンシー堺にて、70期生
第一回目の同窓会を開催しました。

同窓会は、野口先生と朝倉先生のご挨拶、大住先生の
乾杯の音頭から始まり、歓談の時間や抽選会の時間を
大いに楽しむことができました。

卒業以来に顔を合わせる担任の先生方やクラスメイト
も多く、まるで高校生活に戻ったかのような、不思議
でとても楽しい空間でした。

このような楽しい時間はあっという間で、最後に全体
写真や部活ごとで写真を撮り、同窓会一次会は終了
しました。そのあとの二次会でも昔話に花が咲き、楽し
い時間を過ごせました。帰るのが名残惜しいくらいに
楽しい一日となり、思い出に残る日となりました。

今回の同窓会を開催するにあたって、泉陽会の皆様
には、厚いご支援、ご協力を頂き、本当に感謝してい
ます。ありがとうございました。



卒業生クラブだより

サッカー部

昭和41年卒18期 福井隆一郎

今年は春から新型コロナウイルスの影響で、サッカー部の行事も、ことごとく中止、変更を余儀なくされました。感染が広まる前の正月3日に行われました初蹴りには、大勢のOBが訪れました。特に若手OBの方々が多く集まって、年代別のOB戦も熱戦の連続でした。



女子マネージャーが中心となって恒例の豚汁や焼き鳥など、大変おいしいお正月のお祝い膳がふるまわれ、試合でおなかをすかしたOBも大満足でした。三国ヶ丘高校との川淵杯も、中止の方向で進んでいましたが、両校OB会が現役最後の3年生を励まそうと、7月12日に記念試合を開催しました。泉陽高校が3-1で勝利し大勢のOBやご父兄の喝さいを浴びました。3年生の方々は思い出に残るイベントになった事と思います。OB戦も8月9日に泉陽高校グラウンドで行われ、三国ヶ丘高校のOBとのマッチも楽しみました。この時は昨年の卒業生が多く集まり、先生方も一緒にサッカーを楽しみました。又、例年7月堺Jグリーンで行われていますユースサッカーフェスティバルも中野先生をはじめ、石橋先生、多田先生、大橋先生のご尽力で、小規模ながら、全国から有力校が参加し、泉陽高校も胸をかり、大変いい経験になったようです。現役は秋からの試合に今練習に励んでいます。公立校の雄として、勝ち進んでほしいものです。現在、OBの連絡網を充実させるため、LINEの登録をお願いしています。諸経費の負担を少なくし、OBとの連携を深めるため皆様の御協力をお願い申し上げます。いつまでもボールを追いかけた仲間として、楽しいサッカーを通じて、いつまでも泉陽高校のグラウンドで楽しみましょう、一日も早い新型コロナウイルスの収束と、皆様の御多幸を祈念申し上げます。

柔道部

泉柔会(柔道部OB会)会長 昭和47年卒24期 北原拓三

泉陽高校柔道部は来年創部70周年を迎えます。昭和26年、5期生の先輩が2年生6期の先輩が一年生の時に、故林利喜雄先生が顧問を務められ我が柔道部は創部されました。

泉陽高校柔道部は創部後直ちに頭角を現しこの年大阪府3位になり、この年以降何度も大阪府3位になり、堺市民祭9年連続優勝や2年連続国体選手をだすなど強豪校として今日まで実績を上げてきました。

柔道部のOB会である泉柔会では創部70周年記念事業として令和3年秋に「創部70周年記念パーティー」を開催します。泉柔会の皆さんにはふるって参加をお願いします。さらに小冊子「柔道部史」の編纂



を計画しています。こちらにも原稿をお願いしています。

泉柔会の活動ですが、現役柔道部の支援と泉柔会会員の親睦を基本方針として活動しています。令和元年6月8日に泉柔会総会を開催しました。総会に先立ち久しぶりに現役OBの対抗戦が行われました。泉陽、堺西、住吉商業の三校連合現役チームと泉陽OBの対戦でした。手に汗を握る好試合が続き僅差ながらOB軍が勝利することができました。総会では若いOB、OGの参加もあり活発な意見の交換があり有意義な会議になりました。総会後は堺東の楓林閣で懇親会を持ちました。懇親会でも昔話に花が咲き楽しい一日でした。令和元年11月2日にも現役OBの対抗戦を持ちました。泉陽、三国ヶ丘の連合現役チームと泉陽OBの対戦でした。現役チームが動き良く勝利しました。堺東で懇親会を持ち親睦を深めました。今後も来年の創部70周年に向けて盛り上げて行こうと考えています。なお、令和2年の総会は6月に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で延期しました。日程が決まり次第ご案内いたします。

剣道部

剣道部OB稽古会 現監督 杉中周平

ラグビーワールドカップ2019日本大会の真っ只中、日本がベスト4を賭けて南アフリカと激突する令和元年10月20日(日)、泉陽高校の剣道場でOB稽古会が行われました。



参加者は次の通りです。敬称は略させていただきます。

- 15期 河合照公
- 21期 辻 広一
- 32期 井上 弥、大音英武
- 37期 芝 龍二
- 49期 村上知周
- 65期 小川直也、楠本響子、田中絵理
- 67期 沖園英玄
- 68期 久我洋平、月山菜摘
- 69期 渡辺拓斗、松木涼馬
- 70期 永井啓太、吉見太一、安川彩紀
- 71期 泉 沙耶、田中沙樹、中野里美
- 72期 後藤萌公英

(顧問2名、現役11名、保護者1名)

次回は令和2年10月18日(日)午前10時から開催いたします。

野球部

『今も忘れられません、あの打席!』

昭和55年32期 脇 孝之

高校生最後の試合となった1979年7月、夏の全国高校野球選手権大会大阪府大会。3回戦の相手、吹田高校の右投手が投げた内角カーブに、私は空振り三振してしまいました。左打者の私は右投手の内角カーブがひざ元に曲がり落ちてくるのに、バットを合わせられませんでした。その後、プロ野球の中継で解説者が「打者の内角ひざ元に曲がり落ちてくるカーブは当てるのが難しい」と話すのを聞いて、そうだったのか、と納得しました。吹田高校はその年、大阪府大会でベスト8に入った強いチーム。打者の弱点を突くエースの素晴らしい投球術が、今だに心に残っているのです。

当時、大阪府の高校野球界は「私立7強」の時代でした。PL学園、浪商、北陽、大鉄(現阪南大高)、近大付属、興国、明星の7校。浪商には牛島(中日ドラゴンズ)、香川(南海ホークス)のバッテリー、PL

学園には西田(広島カープ)、木戸(阪神タイガース)のバッテリーがいました。最近よく名前を聞く大阪桐蔭(1983年開校)、上宮、履正社は強くありませんでした。2年生の春の大阪府大会で西田、木戸のいたPL学園と対戦しました。こちらは3年生1人、あとは1、2年生ばかり。私は左投げ左打ちだったのに、ポジションはショート(通常は右利きしか入らない)。1回裏の守備についてた時、PL学園のベンチから失笑が漏れたのを覚えています。PL学園の先発メンバーのうち、レギュラーだったのは2人だけ。その一人、木戸が1回裏、三塁に痛烈なライナーを放ちました。長打になると思った瞬間、1年生の橘君が見事に捕り、何とか0点で切り抜けました。しかし、2回以降続々と点を取られ、結局、1-11で5回コールド負けしました。



ただ、この試合で私の唯一の自慢が出来ました。金石(広島カープ)から2塁打を放ったのです。197センチの長身から投げられた真ん中高めの直球でした。振った瞬間、「右中間に飛ぶ」と思った打球は左中間に飛んでいました。完全な振り遅れ。私が2塁ベース上に到達した時、PLの他の選手から「大丈夫か」と、声を掛けられた金石は「直球しか投げてないから」と弁解していました。

夏の炎天下の練習の休憩時に体育館(旧)横で飲んだ水は、大阪の水道とは思えないおいしさでした。そして、年齢の違う練習の手伝いをしてくれたOBの皆さんと触れて、当時は感じませんでした。今になって思えば人生の勉強をしていたのだと思います。私は今、ゴルフをしたり、ウォーキングをしたりと運動に励む日々です。還暦近くになっても体を動かすのが苦にならないのは、泉陽で野球をしていたお陰です。

『2020年野球部OB会新年会で応援歌大合唱』



2月8日堺市内飲食店にて新年会を開催。3期生から46期生までの25人の参加がありました。7期の浅野さんの乾杯発声に始まり、近況報告や現役野球部などの話題に話させました。最後は校歌、応援歌を全員で合唱。中でも、浅野さんから応援歌は甲子園出場をきっかけに作成され、作成の動機や誰が作詞、作曲<当時の音楽科の先生と中央大学出身者の卒業生の作らしい?>したのか、その裏話を聞かせ当時を思い起こしながら皆さんに歌唱指導。なかなか合わず苦戦も何度も繰り返しているうちに、いつの間にか応援歌らしい大合唱となり感動! そのひとときに浸りながら来年の再会楽しみに再開き。

バスケットボール部

泉陽バスケ部の誕生

昭和26年卒 3期 仁平賢治

1948年秋、戦後の学制改革に伴い府立堺中学校、府立堺高等女学院、市立高等女子学校の3校が合併し、府立三国丘高校と府立泉陽高校の2高校が誕生した。我々、堺中学校に在籍した男子生徒は阪堺線から西側に居住する者と府立高等女子学校近くに居住する者は全て泉陽高校に転校させられた(女子についてはよくわからない)。従って、1クラスの男女比率は男子が1/3、女子が2/3で、男子は概ね教室の後方の席に固まった。

当時の泉陽高校は教室が足らなくて、職員室は体育館、教室棟と教室棟の空間にテニスコートやバレーコートがあり、バスケットコートは無し、ただ屋外用リングがただ一つあるだけ。休み時間にそのリングでシュートするしか無かった。しかし、インターハイに出場

したこともある堺中学校時代からバスケット部に所属していた小生と山手邦一君は泉陽高校にバスケット部(籠球部)を作りたくて部員探しに奔走した。野球部志望の天辻君を無理やりに、富士松君、上森君、大沢君、1年下の沢田君、橋本君、浅原君、寺本君、千葉君、と部員を集めた。



しかし、練習するにもコートは無く、当時、市立女学校から赴任してきた武山先生にお願いして、大仙中学校になった旧市立高等女子学校の体育館を借りて頂いた。しかし、毎日と云う訳にもいかず、時々、少林寺小学校の屋外コートで練習した。好きなればこそ、放課後、焼け跡を歩いて、御陵前の大仙中学校の体育館まで通った。お陰様で運動会のクラブ対抗リレーでは陸上部、野球部、バレー部、テニス部等すべてを抑えて、バスケ部が常に1着でした。

翌年、職員室が増築され体育館が使えるようになり、女子バスケ部がスタートした。キャプテンは滝口春子さん、メンバーは新田さん、岸さん、柏木さん、国井さん、竹山さん、鈴木さん、富村さん、執印さん、柳本さんで、年毎に男女のメンバーも増え、やっとな格的に練習が出来ようになった。対外試合も再々、堺市内では三国ヶ丘高校以外、敵なしの状態でした。しかし、笑うことがあります。堺市民大会の決勝戦で三国ヶ丘高校と、中百舌鳥の屋外コートで対戦したときの事です、風のとても強い日でした。スリーポイントラインからのロングシュートは、風に流されて全く得点できず、ゴール下のフォローアップと速攻しかなく、三国ヶ丘高校に1点差で負けた試合がありました。その時のスコアは8対7でした。



卒業後、勤務先で男子バスケ部を結成したり、女子バスケ部監督したりしましたが、その後の泉陽バスケ部は、後輩の沢田武君が大きく育成してくれました。

当時の僕らのチームを育成してくれたのは、監督である、上谷慶次(地学)先生と河合比古司(化学)両先生でした。昭和26年夏の合宿写真の両端に移っています。小生は右から3人目です。又、もうひとつの写真は僕たちが卒業した昭和26年夏、陣中見舞いに来てくれた女子バスケOGを含めた写真です。卒業後も親しい者だけの同窓会を行いました。会員諸氏の健闘を祈ります。

ソフトテニス部

昭和55年卒32期 寺口秀明

昭和58年卒35期 山本博晴

2019年9月8日に泉陽高校同窓会館にてOB・OG総会が行われました。役員人事の結果、1961年卒13期本田正昭会長から新たな会長として1980年卒32期寺口秀明、事務局には寺口新会長から1983年卒35期山本博晴への改選が満場一致で承認されたことをお知らせします。

～ 卒業生は今～

沖縄三線との出会い

昭和60年卒37期 吉満信彦

広報：泉陽をご卒業されてから、どのような歩みでしたでしょうか？

吉満：大阪府立大学工学部機械工学科を卒業し、住友金属工業株式会社(現日本製鉄)に入社しました。メーカーで且つ、大阪で就職をしたいというのが志望動機の一つでした。当時バブル末期で様々な会社が本業とは異なる多角化事業に取り組んでおり、鉄鋼会社であるにも関わらず、半導体製造装置の製造部門に設計として配属されました。一生懸命がんばりましたが、残念ながら事業撤退となり、1999年に異動になりました。子会社で鉄道関連の機械設備を設計製造する会社に技術営業としての異動でした。ここが一つの人生の転機となりました。初めての営業、初めての東京でした。仕事は大変面白く、その後のライフワークとなりました。異動もなく現職21年目になります。日本国内、海外の鉄道車両基地の建設に、機械装置の製造という立場から関わっており、国内JR、民営鉄道事業者の車両基地、整備、新幹線(九州、北陸、北海道)台湾新幹線、2027年開業予定のリニア中央新幹線などの仕事をしてきました。

広報：素晴らしいお仕事をされてこれたのですか。異動の時大阪を離られたのですか？

吉満：はい、その時に東京へ引っ越ししました。大阪生まれの大阪育ち、大学時代も中百舌鳥近辺をうろろろしていた自分は、感覚的に一生大阪近辺に居るのだらうと思っていました。そこに東京での一人暮らしとなり、関東に知り合いもない自

分は、心機一転、東京赴任すぐから沖縄三線を始めました。もともとダイビングが好きで、社会人になってから沖縄宮古島によく潜りに行っていた自分は、海に潜るより、夜、民謡居酒屋に潜る方が好きになりました。泡盛の海はサイコ～でした。(笑)

その時の三線の素朴な音色がずっと耳にこびりついていました。東京にきてすぐ、三線教室を探し、運よく宮古島の先生に出会うことができました

広報：良かったですね。三線とはどのような楽器ですか？

吉満：中国福建省で生まれた弦楽器「三弦」を原型とする撥弦楽器で、15世紀以降琉球王国(現在の沖縄県および鹿児島県奄美群島)で独自に発展しました。16世紀、琉球王国が日本の勢力圏下に入るより以前にすでに日本に伝わっていて、三味線の起源の一つとなりました。三線は音を出す胴の部分に蛇皮を張り、胴の尻から棹の先(天部)に向けて3本の弦を張り渡して、弦を弾いて鳴らす。主に単音でメロディ部分を演奏します。

広報：いいものに出会われましたね。

吉満：本当にそう思います。現職同様21年間、ひたすら三線を弾きまして今に至っています。地域のお祭りや催し物、NHKの民謡番組やBEGINの全国ツアーにも出させて頂きました。2016年11月には泉陽高校37期同窓会 おとなの文化祭で30分の枠を頂き演奏しました。とても楽しかったです。

広報：かなり本格的ですね。生徒さんをとって教えたりされておられるのですか？

吉満：8年前に師範の免許を頂きましたが、



今はボランティアで三線を教えています。一人で東京に出てきて、三線を通じて本当に多くの人と出会うことができ、土日まったく暇でなくなったことが、強いて言えば、一番良かったことですよ。(笑)

広報：最後に今後の抱負をお聞かせくださいませんか？

吉満：はい、これからも楽しく三線を続けたいと思っています。今は定年後に向けて、グループ演奏に必要な楽器、篠笛、太鼓、ギター、一五一会(BEGIN開発の4弦ギター)などの装備を増強しています。部屋が狭くなると言って家族に怒られています。(笑)

また練習も大変ですが、頑張りますので皆様、機会がありましたら是非聞きに来てください。

広報：はい、皆で行きたいと思います。今後ともご活躍お祈りしています。本日はありがとうございました。

夜間定時制高校の数学の先生に

平成23年卒63期 田中謙吾

広報：はじめに、お仕事は何をされていますか？

田中：高校生を笑顔にする仕事です。という笑われてしまいますが、笑顔であふれる社会を作りたいという思いを持って高校の教師をしています。担当教科は数学です。

僕が勤務している学校は定時制で、生徒の中には小学校、中学校で不登校を経験している生徒や、夜間中学を卒業しお年を召した方など、年齢や境遇も様々な方がいらっしゃいます。授業をする年齢層が幅広いことに驚きました。しかし、どの生徒にも共通して言えることは、一生懸命に勉強や自分と向き合っていることです。その頑張っている姿に、僕自身が逆に刺激を受けることが多いです。

授業は夕方の5時半から夜の9時過ぎまであります。ほとんどの生徒が昼間働いてから学校に来ます。本当にすごいなと思います。僕は高校生のとき、朝から学校に行って部活した後、夕方からの塾は睡魔との戦いでもありましたからね。生徒たちはその睡魔にも負けず、真剣に取

り組んでいます。その姿は尊敬に値します。僕も泉陽高校生活は楽しかったですが、ここまで真剣に毎日を送っていたかな…と考えさせられることがよくあります。

広報：次に大学時代のことお聞かせいただけますでしょうか？

田中：はい。数学の教師になるために、教育学部のある大学で数学の勉強をしました。さらに卒業後は大学院に進学しました。

サークル活動はアカペラでバンド活動をしていました。アカペラなので楽器は使わず人間の声だけで音を重ねていくのですが、メロディを歌うのはもちろんのこと、口で楽器の音を出すパートもあり様々なジャンルの曲を手がけました。ちなみに僕は、ボイスパーカッションという口でドラムの音を出すパートを主に担当していました。舞台ではトークあり、曲が豪華に仕上がるとなかなか楽しいものでしたよ。特に舞台が盛り上がり、観客と一体になった時の感動は忘れられません。

広報：最後に、余暇はどのように過ごされていますか？

田中：旅行です。僕は、生まれも育ちも大



阪なので、他の都道府県に行くと、新たな発見や感動、現地の人との出会いなど刺激的なことがたくさんあり、自分の世界が広がります。災害ボランティアも兼ねて様々な場所に行ったこともありましたが、百聞は一見に如かず、テレビ等では報道されていない現実に戸惑い、実際に足を運ぶことの大切さを学びました。日本のすべての都道府県を巡ろうと思って取り組み始め、今では後、島根県と新潟県を残すのみです。全部巡った後ですか？

それは二巡目に入りますよ。

広報：意欲的な生活をされておられるのですか。今後のご活躍が楽しみです。本日はありがとうございました。

年会費納入のお願い

泉陽会は『会員相互の親睦を図ると共に、母校の進歩と発展に寄与することを目的』に活動を行っています(泉陽会会則第2条)。会の運営は会費・入会金及び寄付金によって運営(泉陽会会則第15条)しており、その多くを皆様からの会費によって運営させていただいております。

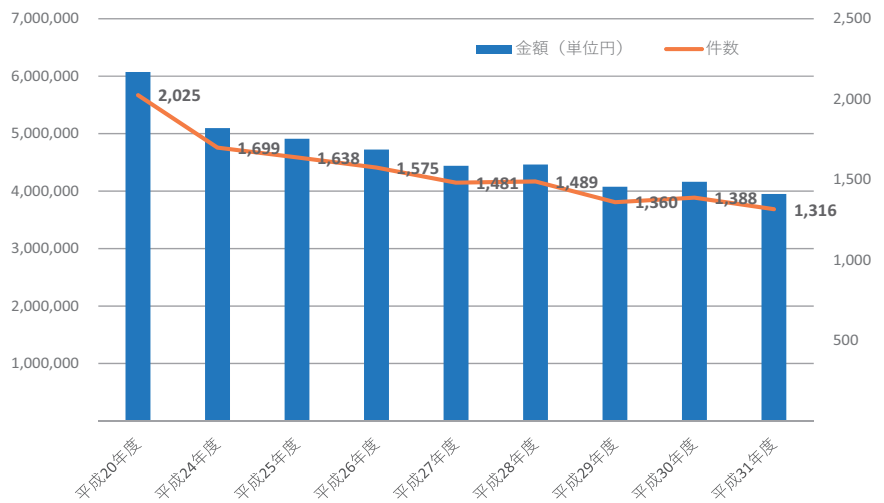
年会費収入の状況ですが、全体的な傾向として減少傾向にあります。約10年前の平成20年度には、約6,000千円(2,025件)であったものが平成31年度は約3,950千円(1,350件)とこの10年間で4割の減収となっている状況です。昨年度からも若干の減少となりました。

毎年予算では、4,500千円(1,500件)を計上していますが、ここ数年は達成が困難な状態が続いています。今期はコロナ禍の影響でいづみの発送が遅れ、年会費の収入も例年以上に厳しくなる見込みです。会の目的である母校の進歩と発展のため、みなさまのご協力をお願いできれば幸いです。

また、会費を納入いただいた皆様に、泉陽会として感謝の意を示すとともに、納入いただく意義を感じていただく取り組みの必要性を認識しています。みなさまからのご意見やご要望をちょうだいしながら、今後の泉陽会、会費のあり方についても検討していく所存です。

なお、会費の振り込みにつきましては、ゆうちょ銀行のATM振込以外にインターネットバンキングも利用可能です。また、今期

年会費収入の推移



からはコンビニエンスストアも利用可能となりました。詳細はホームページ(https://senyokai.jp/about/annual_fee/)をご参照ください。

会費から毎年100万円積み立てを行っている『記念事業積立金』につきましては、母校の周年記念等に活用しています。第7号議案(11ページ)にあるように、120周年記念については食堂の空調整備への寄付を予定しています。なお、過去の積立金の活用例は下記のとおりです。

【過去の記念事業】

- 平成12年9月1日 百周年記念事業の一つとして3年生の9

室に冷暖房装置設置。特定募金1,412万円

- 平成12年11月18日 創立100周年記念式挙行(大阪国際会議場)、創立100周年祝賀会挙行(リーガロイヤルホテル中之島)
- 平成16年3月1日 LL教室に空調機設置
- 平成22年10月29日 創立110周年記念式典挙行(堺市民会館) 創立110周年記念祝賀会挙行(リーガロイヤルホテル堺) グランドピアノ190万円、空調設備65万円 寄贈

広報委員会より

コロナ禍の影響で、いづみの発行、発送が遅れましたこと、お詫び申し上げます。また、いつもご協力いただいている封緘作業も、残念ながら中止となりました。来年には状況も落ち着き、ふたたび封緘作業にたくさんみなさまとお会いできることを、楽しみにしております。その節は、ぜひご協力をお願い申し上げます。来年度は、コロナ禍の影響で、同窓会記事なども少々寂しくなると想定しています。ちょっとした近況など、代議員様も含めて多数の記事の提供をお願いできれば幸いです。

いづみ掲載記事をお寄せください

募集記事	OB、OGのご活躍の情報、同窓会報告、同窓会開催案内や泉陽高校関係の情報など ※ 紙面の都合により、掲載されない場合があります。あしからずご了承くださいませ。
記事の文字数など	おおむね原稿用紙1枚(400字程度) それよりも多くてもかまいませんが、紙面の都合上、文脈を変えず編集することがあります。写真については2枚~3枚までにしていただくと助かります。送付頂いた原稿、写真の返却が必要な場合はお申し付けください。
記事の送付方法	できれば電子媒体での入稿がありがたいですが、紙媒体でも問題ありません。 ・郵送：泉陽会館に広報委員会宛で送付ください。 ・メール：koho@senyokai.jp

編集後記

今年のいづみは発行がどうなるかと思っていましたが、なんとかかまどめることができました。しかしながら、一大イベントの封緘作業が行えなかった点は、とても残念に感じています。総会の議案を盛り込んだこともあり、いつもは16ページのところ、今回は20ページのボリュームとなっています。読むのも大変かと思いますが、是非、ご一読の上、感想を聞かせてください。

(昭和60年卒37期 吉山 諭)